

2023

ガサガサ探検

笠

原



MAP 2



モンキマメゲンゴロウ



サワガニ

5年

青木すみ水

5

目次

1	なぜ笠原川MAPを作ったのか				
2	昨年とくらべた川の変化とつかまえた生き物				
①	昭和町	②	京町	③	大畑町
④	滝呂町	⑤	笠原町		
3	6月2日の大雨について				
4	川の安定せいについて				
5	5か所でつかまえた川の生き物のくわしい言兑明				
6	愛知県のみずとひび庄内.庄内川でガサガサをした記録				
7	カワヨシノボリと寄生虫				
8	ヤゴとサワガニの脱皮				
9	アメリカザリガニとアカミミガメについて				
10	まとめ				
11	生き物について教えていただいた人				

・なぜ笠原川MAPを作ったのか

MAP作りは2年目です。

今年も調査して去年との変化を比べてみます。

2年目でやり方や場所の特ちょうも分かっているのでもっと多くの生き物をつかまえたりくわしくまとめられると思います。

去年は4か所を調査しました。今年はさらに上流の笠原町のポイントもふやして5か所がサガサ探検を行います。

笠原町の上流には、どんな生き物がいるのか楽しみで。

・どんな風にマップを作ったのか

去年と同じで、笠原川の5つのポイントでサガサを2回ずつ行う。

タモを使い魚や水生昆虫をつかまえる。

虫や鳥、川の土形などを観察する。

つかまえた生き物を1匹ずつ写真を撮る。

その後生き物の名前や特ちょうを調べる。

川の木葉子も記録する。

・使用した物

1. タモ

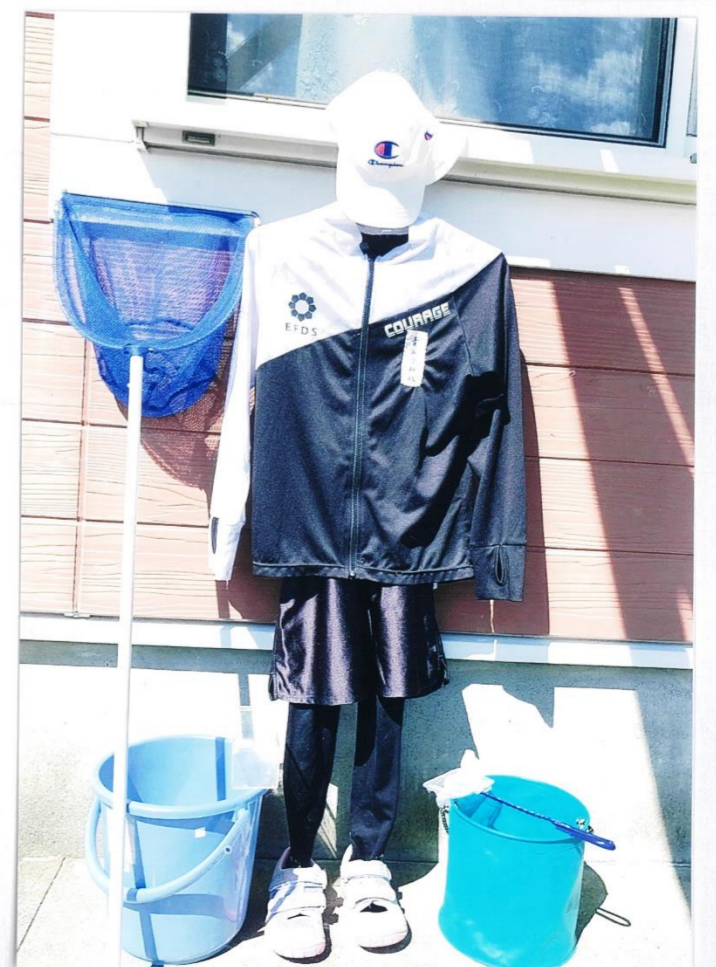
4. カメラ

2. バケツ

5. 長そで長ズボン

3. 小さい入れ物

6. 白い木板
さつえいの時に使う



①多治見市日沼和田町付近 (笠原川の河口 土岐川との合流地点)

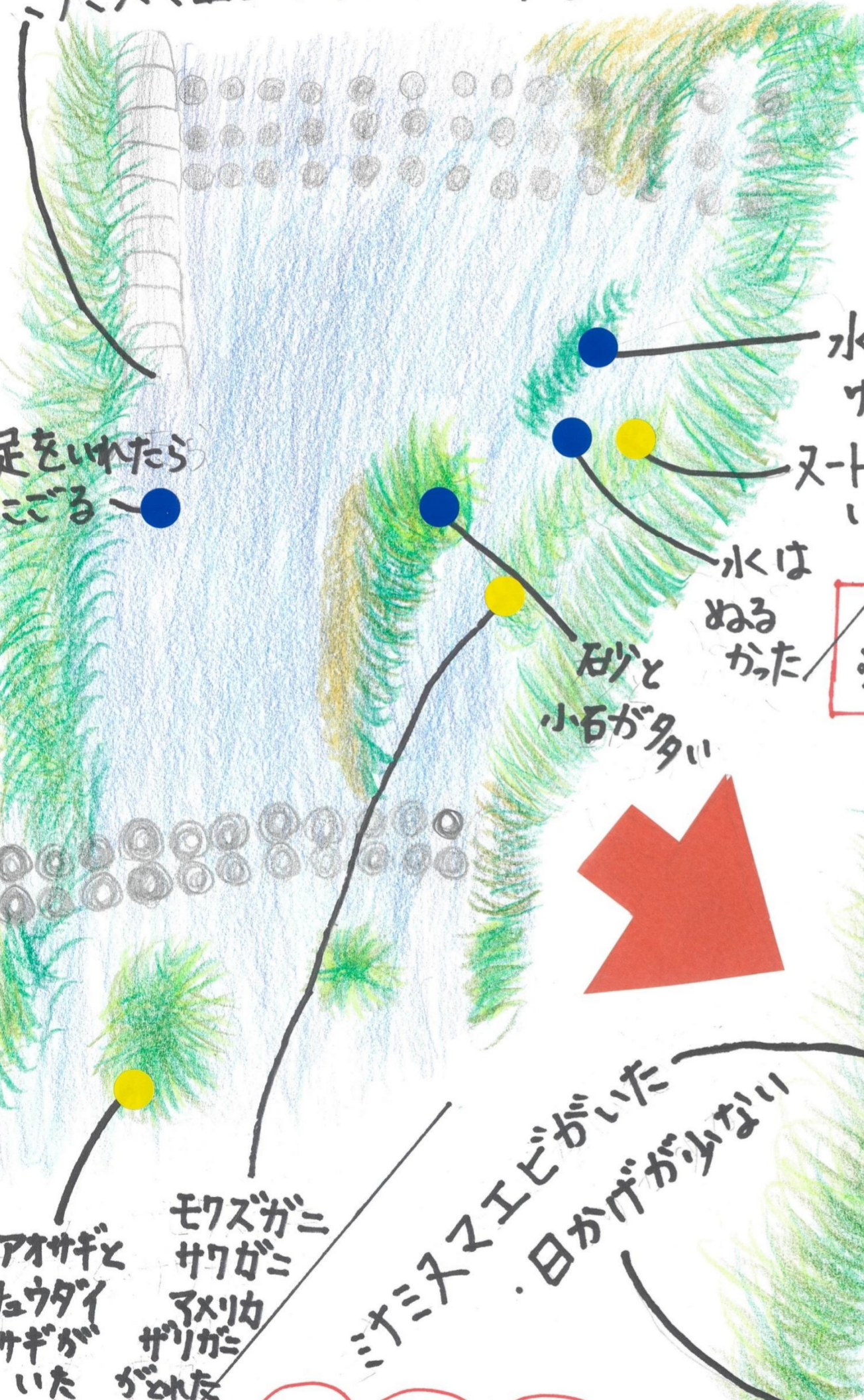
調査日	時間	天気	気温	水温
7月16日	16:00~17:00	晴れ ☀️	34℃	29.7℃
8月19日	16:00~17:00	晴れ ☀️	35℃	31℃

ミナヌマエビがたくさんいた。

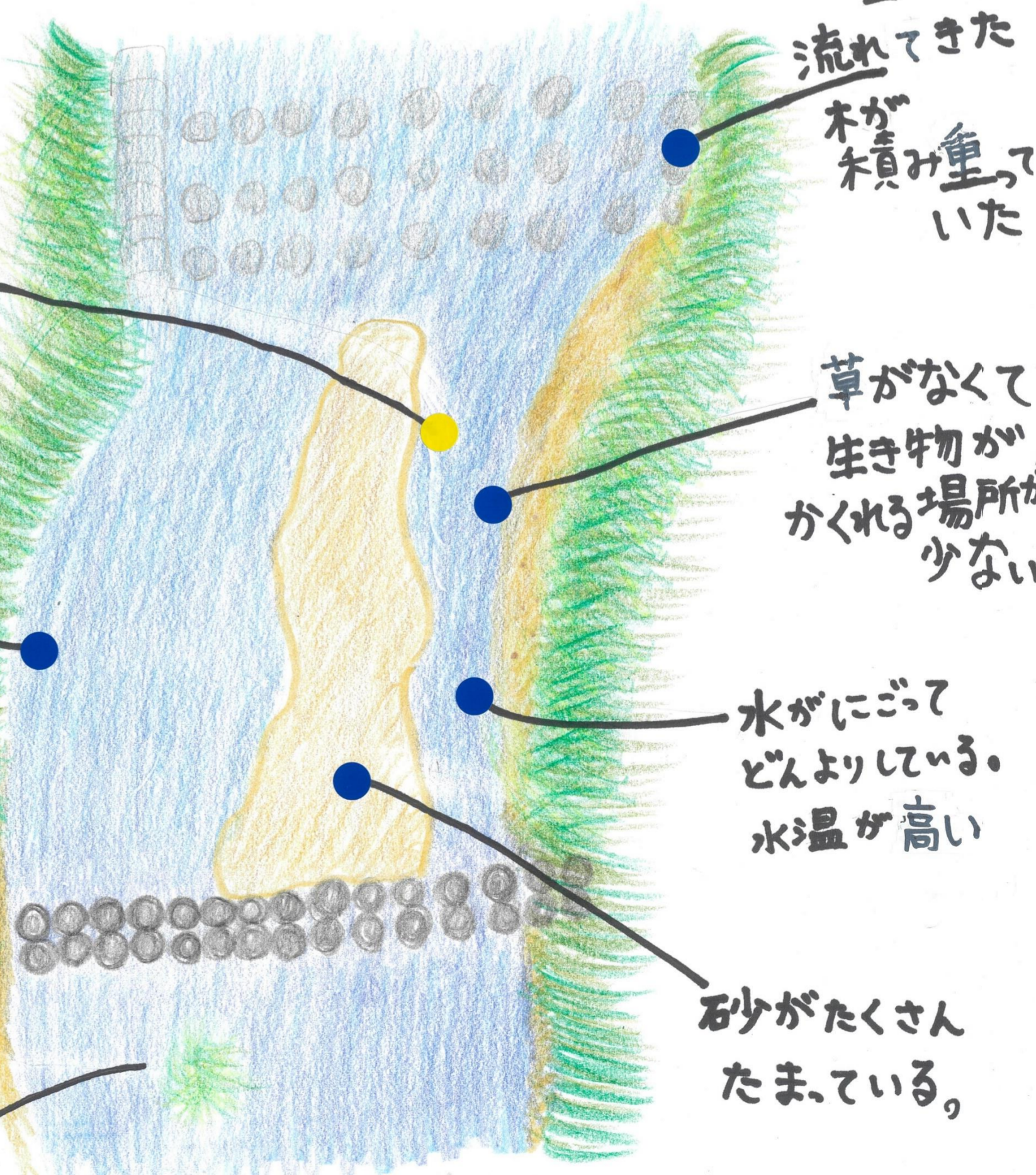
今年の川の様子



2022年の川の様子



大雨がらったので
 ※去年と今年の川の様子をくらべてみました。



「生き物がたくさんとれると期待していましたが
 6月の大雨で
 川の本流がすごく変ってしまい
 生き物があまりとれませんでした
 たうダイサギがいた」

アオサギと
 たうダイサギが
 いた

モズガニ
 サワガニ
 アメリカザリガニ
 がいた

ミナヌマエビがいた
 日かげが少ない

①昭和町周辺（笠原川と土岐川の合流地点）

1回目 7月16日(日)

カワヨシノボリ	6
オイカワ	1
(ヤゴ) ハグロトンボ	8
(ヤゴ) ダビドサナエ	7
(ヤゴ) コオニヤンマ	17
(ヤゴ) コヤマトンボ	2
ヘビトンボの幼虫	1
ミナミヌマエビ	43

2回目 8月19日(土)

カワヨシノボリ	10
オイカワ	1
カワムツ	4
(ヤゴ) ダビドサナエ	5
(ヤゴ) コヤマトンボ	13
(ヤゴ) アオサナエ	1
(ヤゴ) シオカラトンボ	4
(ヤゴ) コシアキトンボ	1
ミナミヌマエビ	60
アメリカザリガニ	1
アメンボ	4

ガサガサ探検した5ヶ所の中で一番川の様子が
変っている場所でした。去年は一番生き物がとれた場所
だったので期待していましたがあまりとれなかったのが残念
です。こんなに川の様子が変わってしまうほど、6月の雨の量は
多かったのだと感じました。

去年とれなかった シオカラトンボ(ヤゴ)やコシアキトンボ(ヤゴ)が
とれたのでうれしかったです。

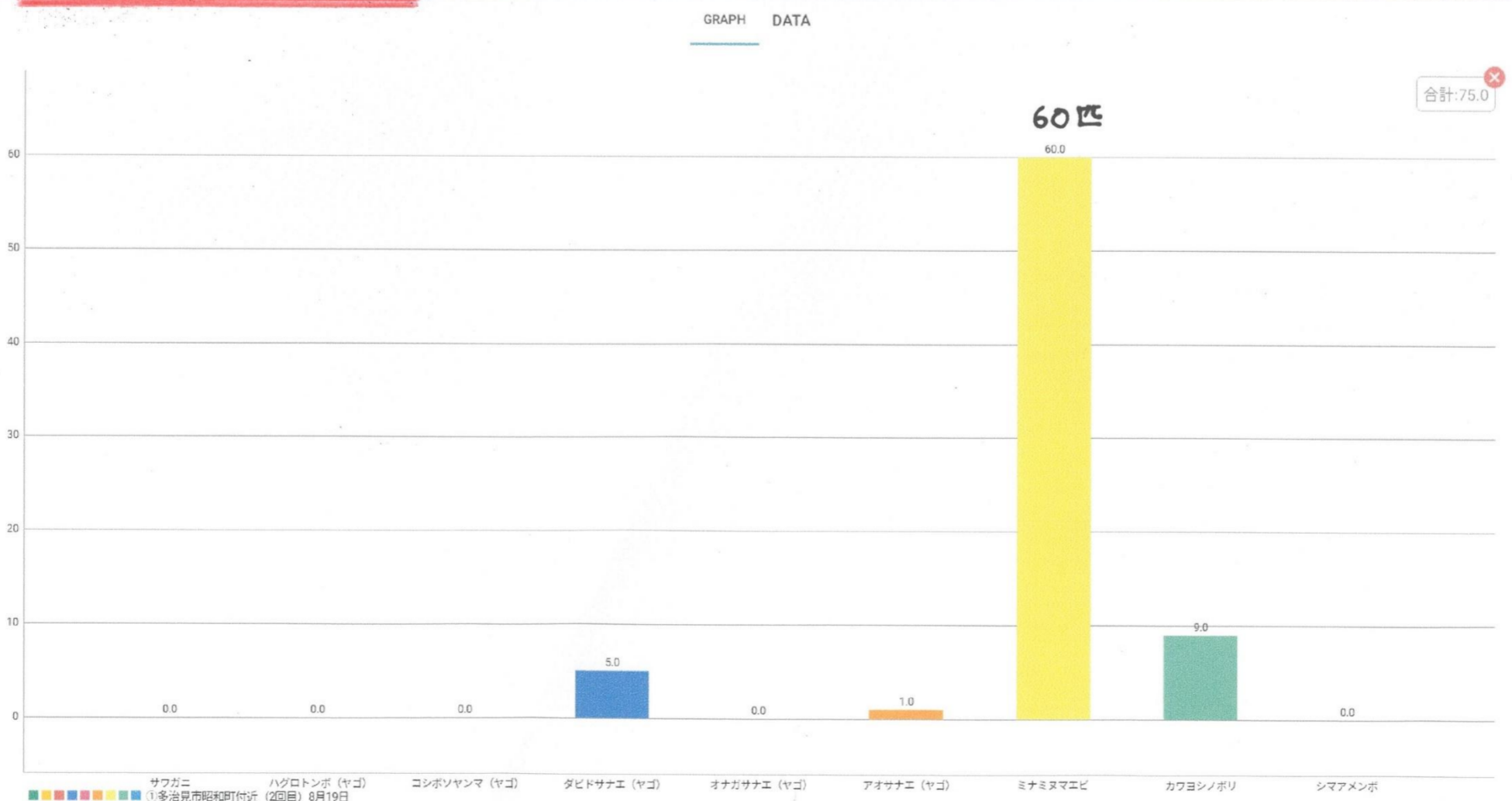
川はこれからどう変化していくのか、

昔のようになるのか、新しくなるのか変化を見て
いきたいです。

①多治見市昭和町付近 (1回目) 7月16日

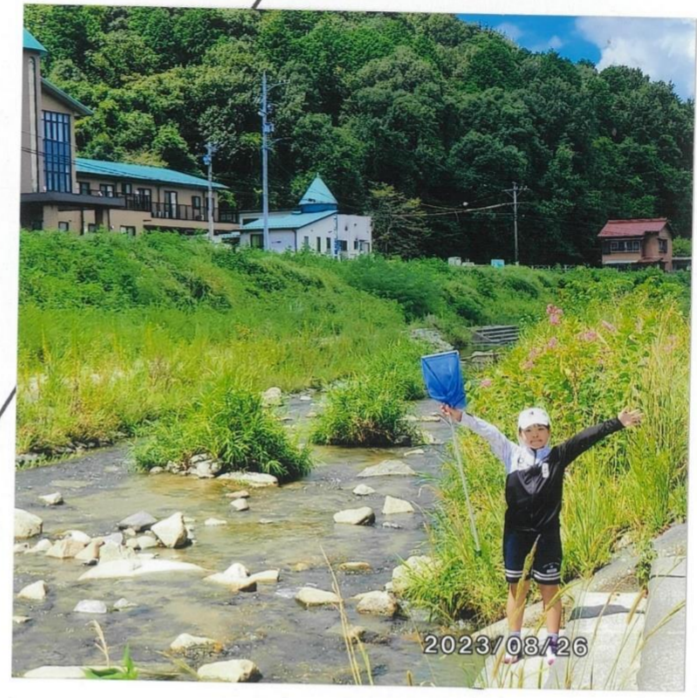
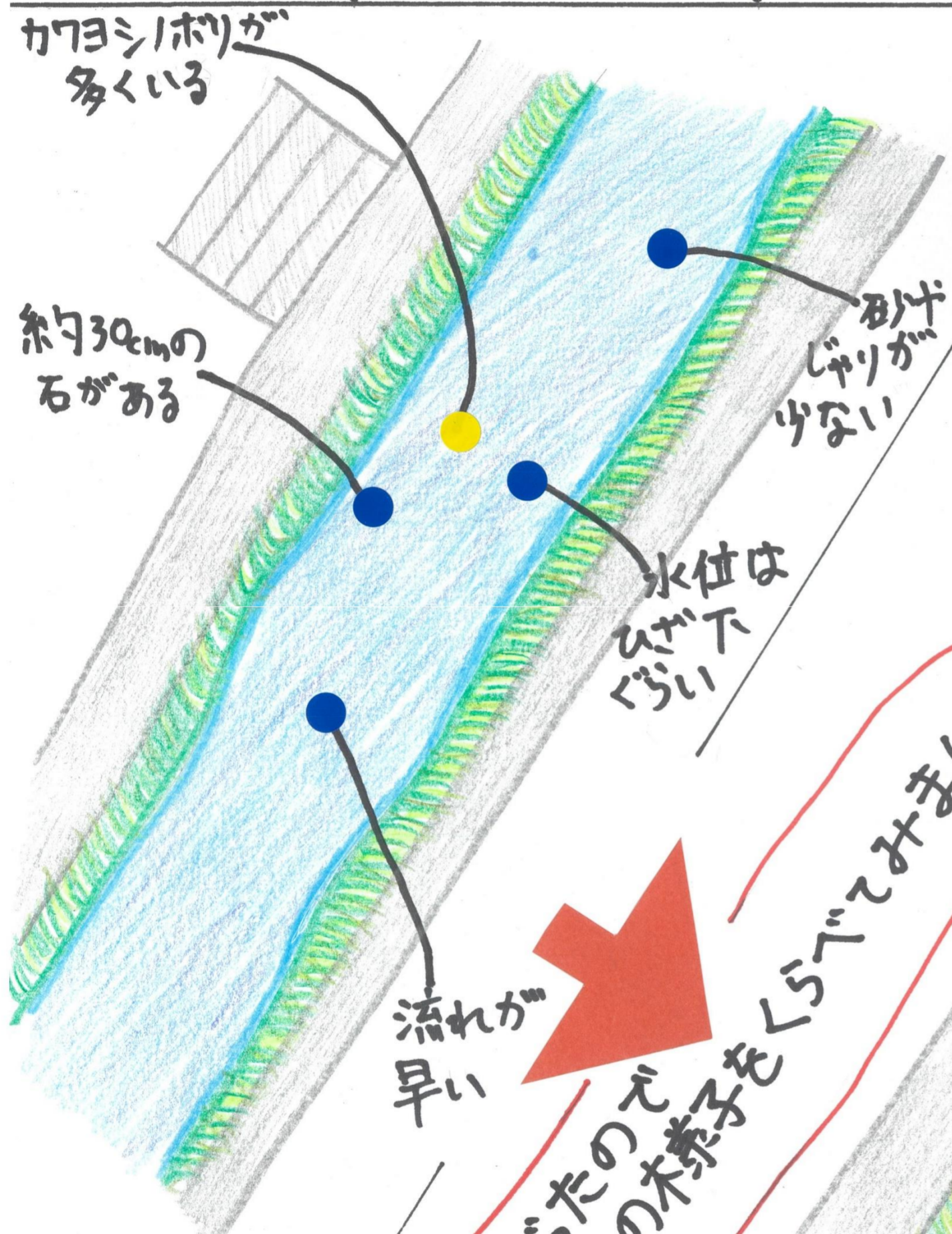


①多治見市昭和町付近 (2回目) 8月19日



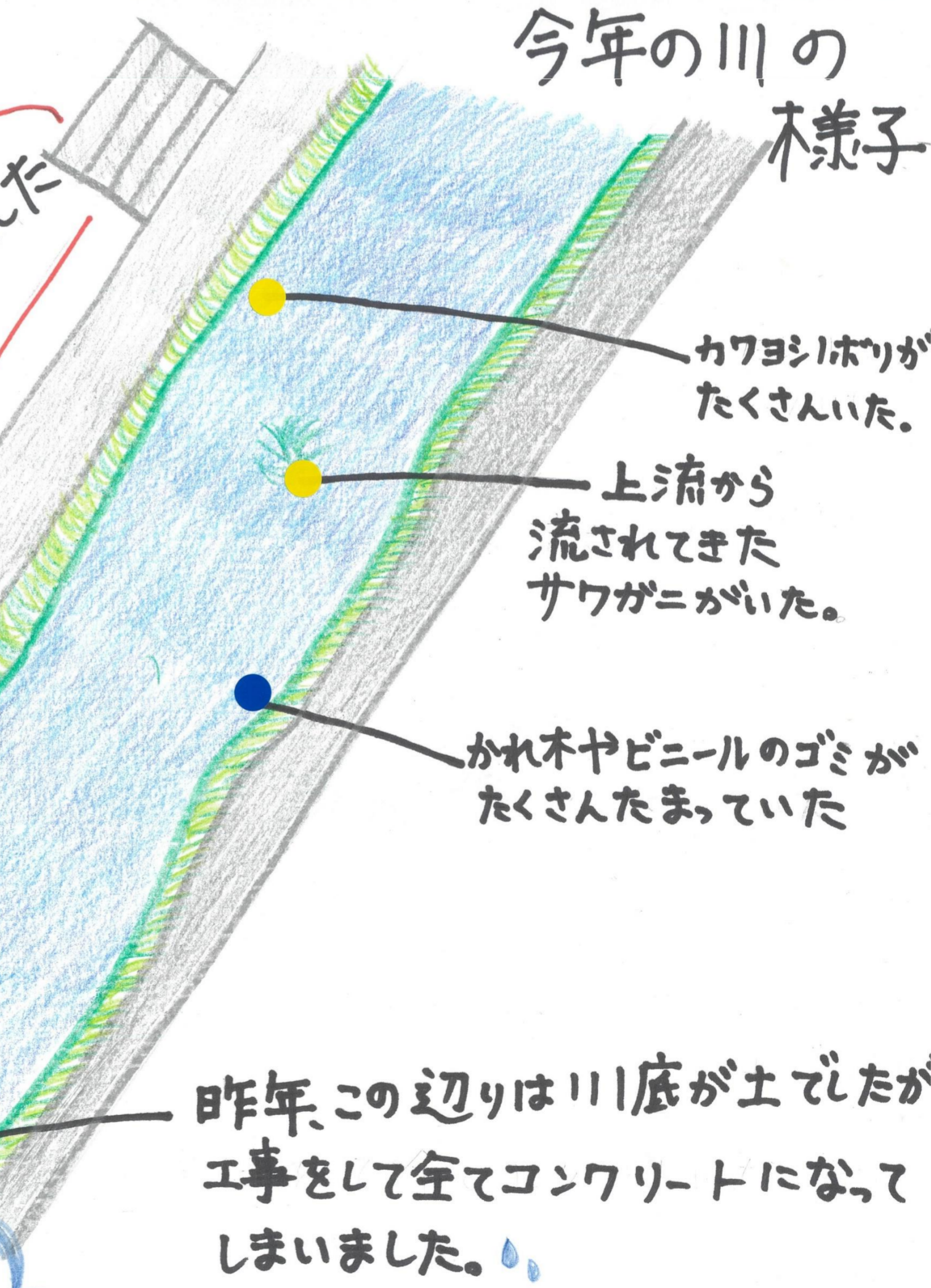
② 多治見市京町付近 (学習じゃくリードのうら)

調査日	時間	天気	気温	水温
7月16日	13:00~14:30	晴れ ☀️	34℃	28.5℃
7月23日	13:30~14:30	晴れ ☀️	34℃	31.4℃



※6月が大雨だったのえ去年と今年の川のの様子をくらべてみました

今年の川の様子



2022年川の様子

この場所は川底なども全てコンクリートなのであまり大雨での変化がなかったです。

②京町周辺 (学習塾リードの裏)

1回目 7月16日(日)

カワヨシノボリ	12
(ヤゴ) ハグロトンボ	4
(ヤゴ) ダビドサナエ	11
(ヤゴ) オナガサナエ	4
ミナミヌマエビ	13
サワガニ	1

2回目 7月23日(日)

カワヨシノボリ	9
カワムツ	1
(ヤゴ) ハグロトンボ	1
(ヤゴ) コシボソヤンマ	1
(ヤゴ) ダビドサナエ	21
(ヤゴ) コオニヤンマ	9
(ヤゴ) オナガサナエ	4
(ヤゴ) ヤマサナエ	1
ミナミヌマエビ	10
シマトビケラの仲間	1
モンキマメゲンゴロウ	1

去年より生き物の数がへりました。

①昭和町よりヤゴとカワヨシノボリが

多くとれてうれしいです。

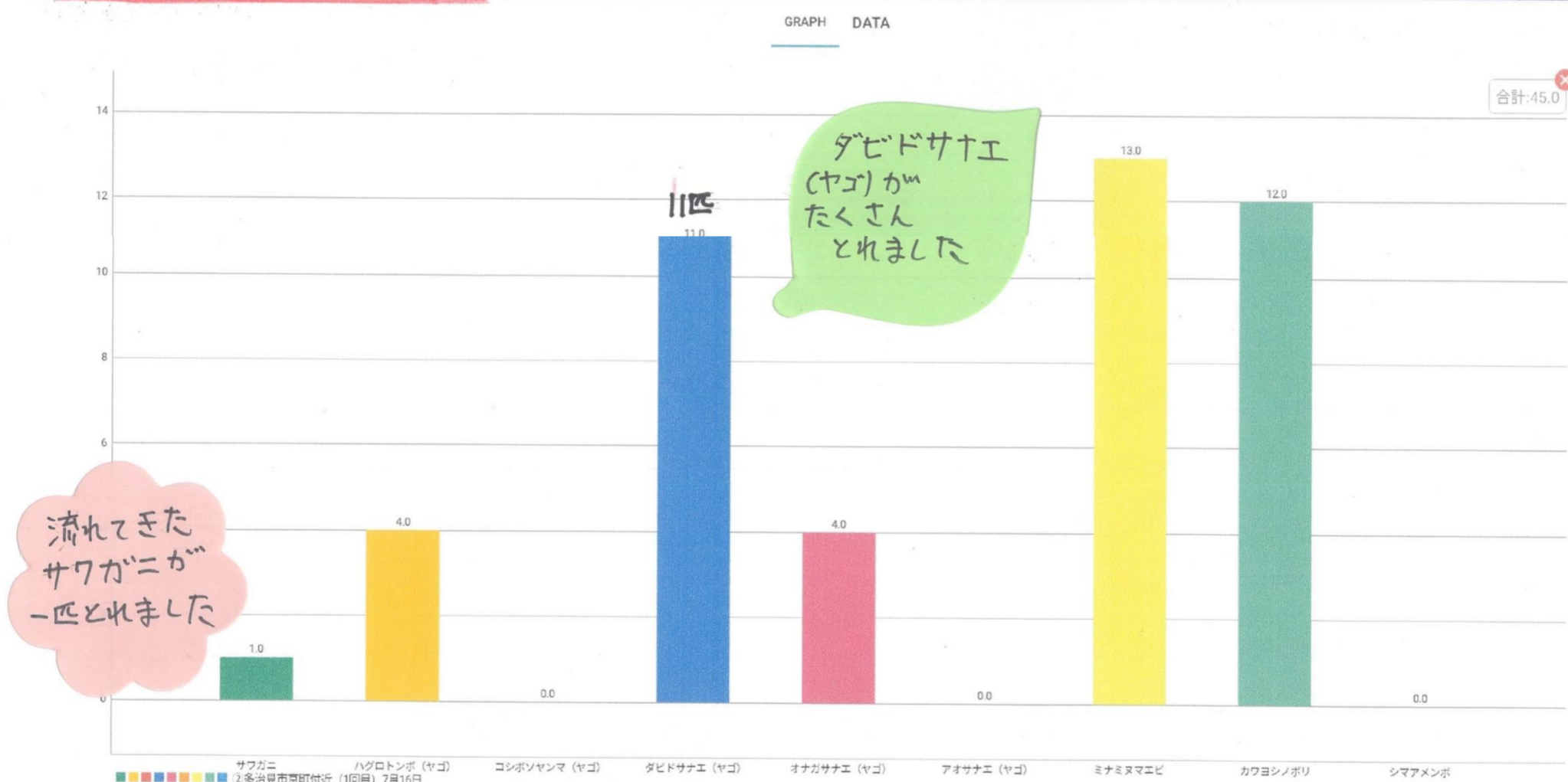
本当はこの場所に

サワガニはいないはずなのに

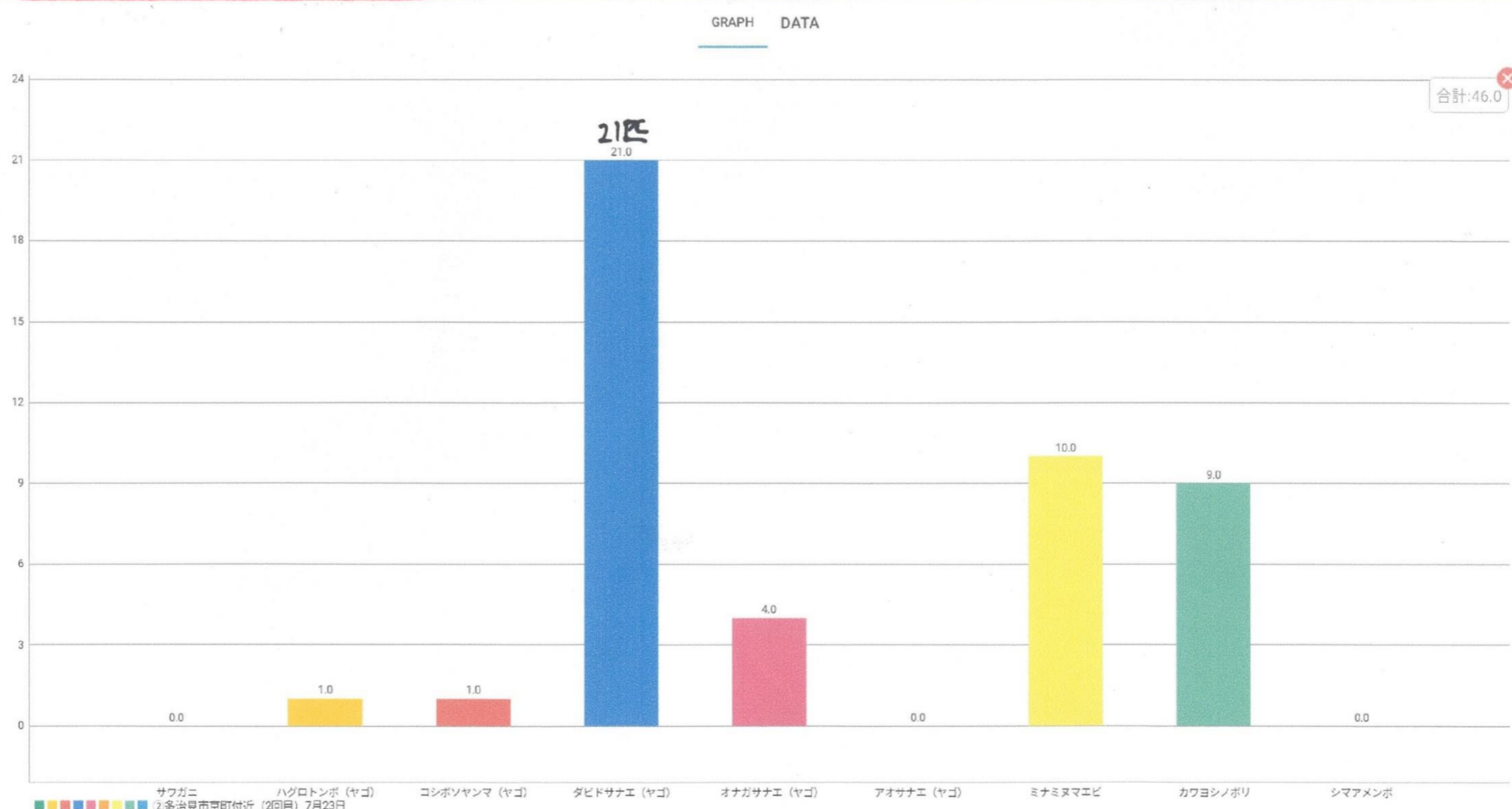
大雨で上流からサワガニが流れてきて

いました。



②多治見市京町付近 (1回目) 7月16日

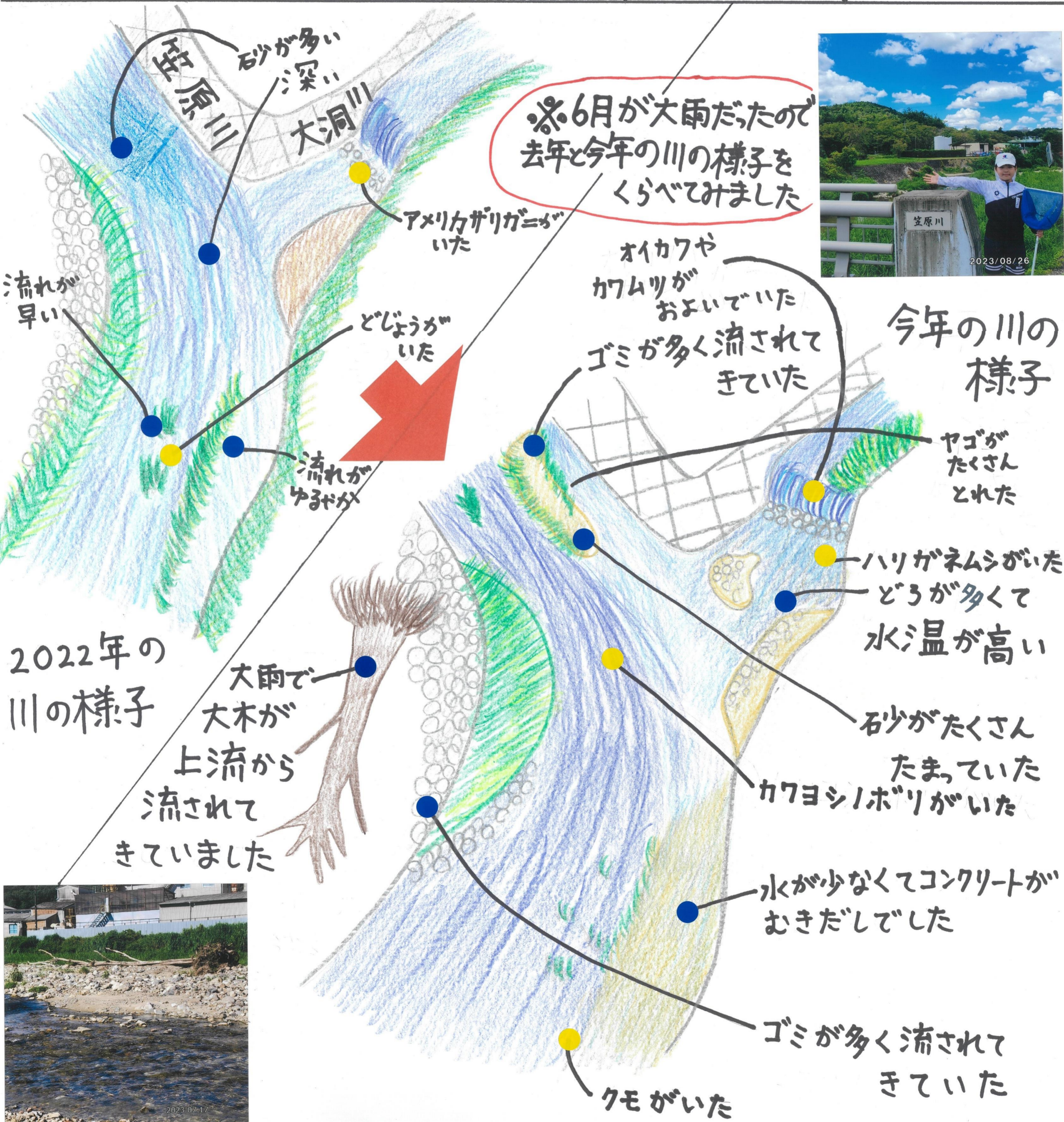


②多治見市京町付近 (2回目) 7月23日



③多治見市大畑町付近

調査日	時間	天気	気温	水温
7月17日	13:30~14:30	晴れ 	36℃	27.2℃
8月19日	13:30~14:30	晴れ 	36℃	32℃



③大畑町周辺 (株式会社TYK多治見の裏)

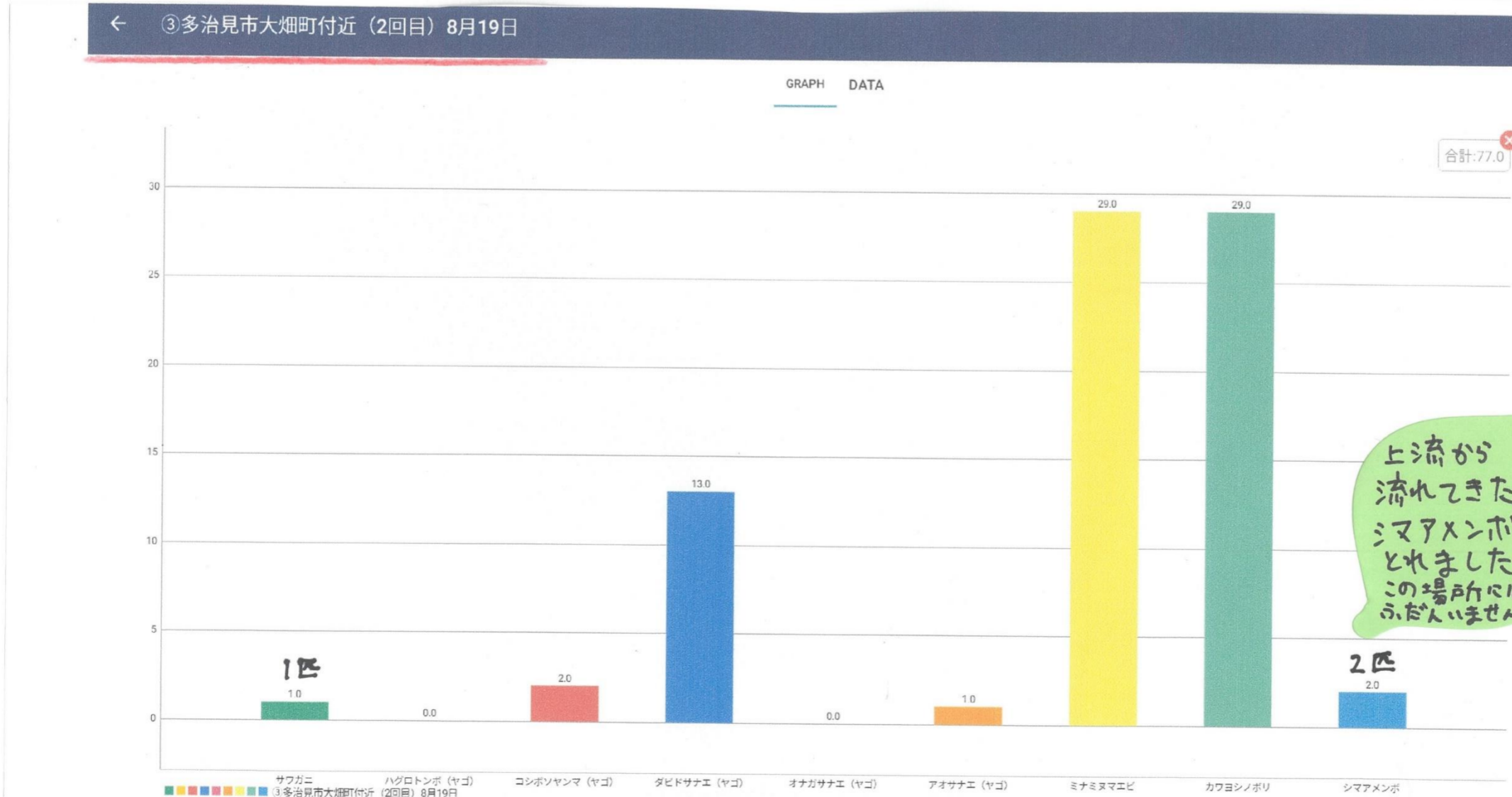
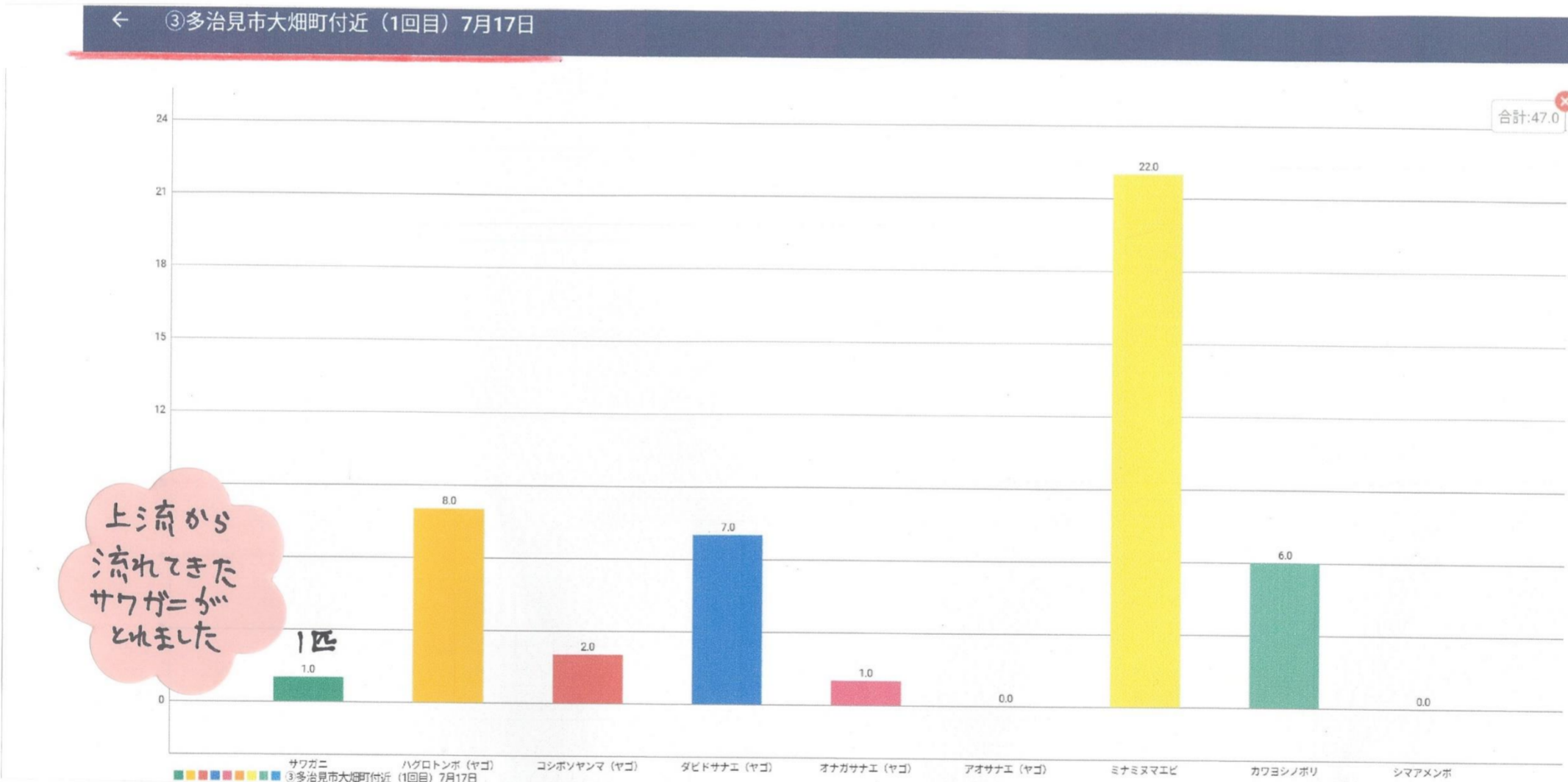
1回目 7月17日(月)

カワヨシノボリ	6
カワムツ	1
(ヤゴ) ハグロトンボ	8
(ヤゴ) コシボソヤンマ	2
(ヤゴ) ダビドサナエ	7
(ヤゴ) コオニヤンマ	2
(ヤゴ) コヤマトンボ	1
(ヤゴ) アオサナエ	1
(ヤゴ) ショウジョウトンボ	1
ミナミヌマエビ	22
サワガニ	1
ヒル	1
モンキマメゲンゴロウ	2
ガガンボの仲間	4



2回目 8月19日(土)

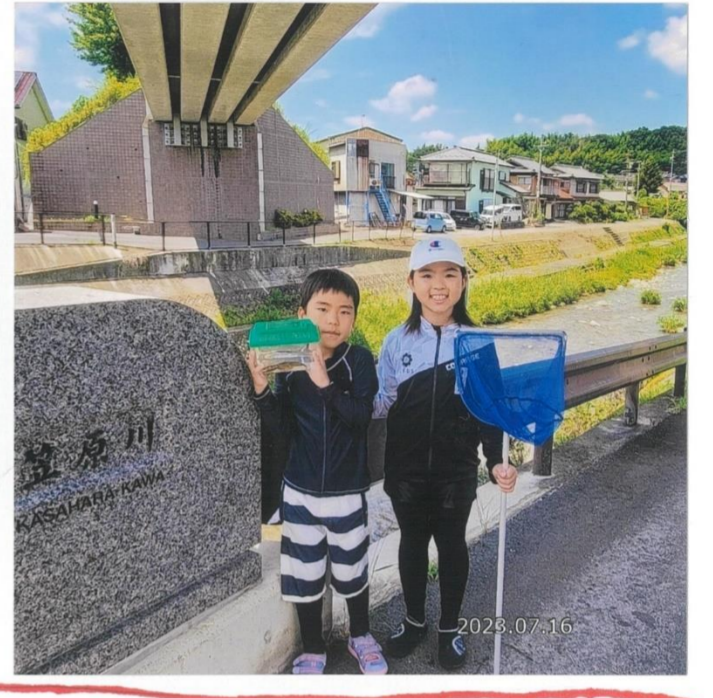
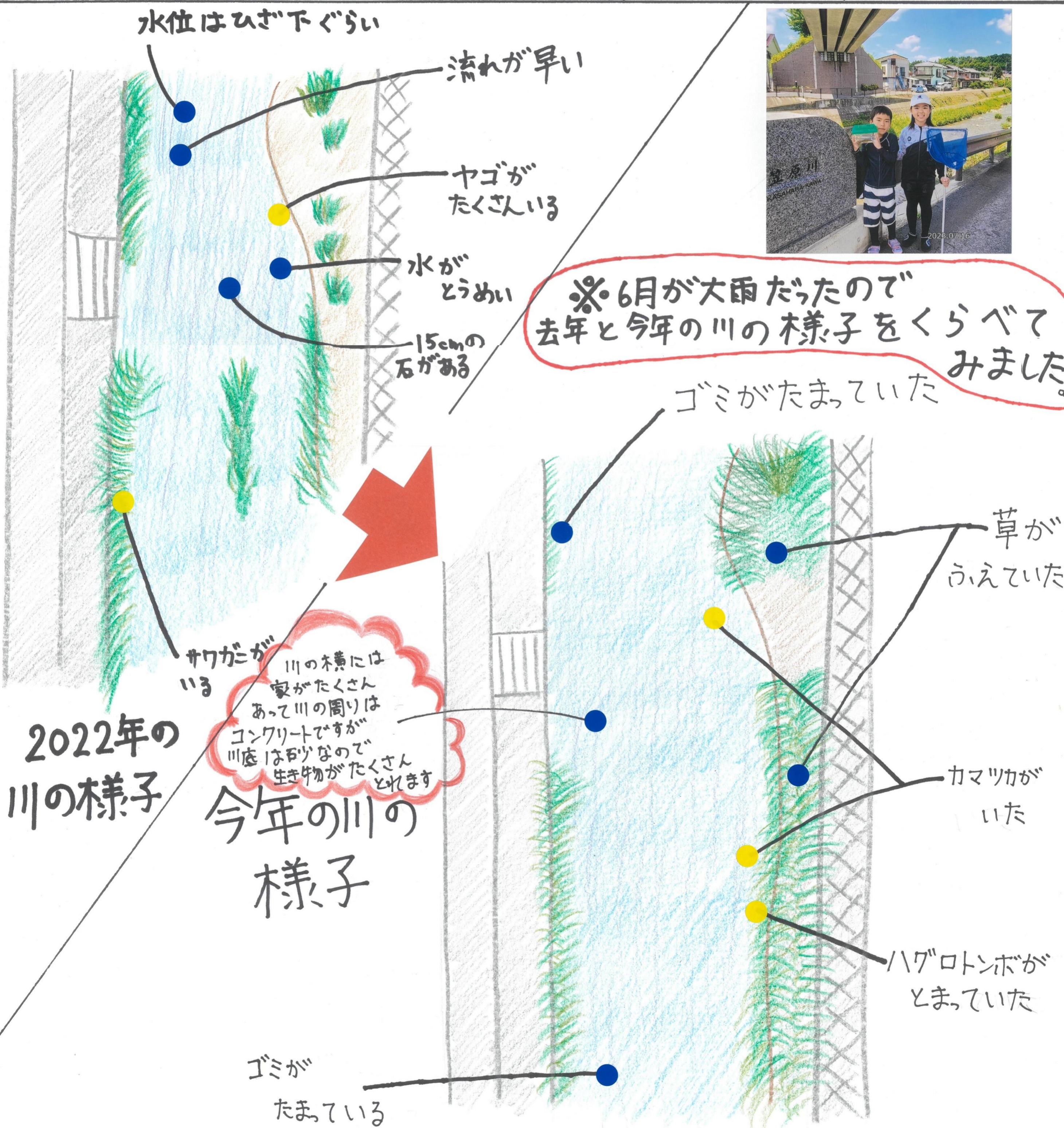
カワヨシノボリ	29
カワムツ	14
カマツカ	1
(ヤゴ) コシボソヤンマ	2
(ヤゴ) ダビドサナエ	13
(ヤゴ) コオニヤンマ	3
(ヤゴ) コヤマトンボ	6
(ヤゴ) アオサナエ	1
(ヤゴ) オナガサナエ	2
(ヤゴ) シオカラトンボ	1
ミナミヌマエビ	29
サワガニ	1
ハリガネムシ	1
ガガンボの仲間	1
アメンボ	2
シマアメンボ	2

大畑町では今年のがさがさの中で一番生き物がとれました。6月の大雨で上流から流れてきた大木があっおどろきました。生き物がたくさんとれていた場所が大木でなくなっていました。②の京町と同じで、いるはずのないサワガニとシマアメンボがいたので上流から流されてきた事がわかりました。



④ 多治見市滝呂町付近 (リカーマウンテンのうら)

調査日	時間	天気	気温	水温
7月16日	9:30~11:00	晴れ 	30℃	24.2℃
7月23日	10:30~11:30	晴れ 	34℃	26.8℃



④滝呂町周辺（リカーマウンテンの裏）

1回目 7月16日(日)

カワヨシノボリ	15
(ヤゴ)ハグロトンボ	24
(ヤゴ)コシボソヤンマ	2
(ヤゴ)ダビドサナエ	26
(ヤゴ)コオニヤンマ	14
(ヤゴ)コヤマトンボ	4
(ヤゴ)オナガサナエ	2
ミナミヌマエビ	36
サワガニ	5
アメリカザリガニ	1
モンキマメゲンゴロウ	2
トノサマガエルのオタマジャクシ	1

2回目 7月23日(日)

カワヨシノボリ	4
カマツカ	1
カラドジョウ	1
(ヤゴ)コシボソヤンマ	2
(ヤゴ)ダビドサナエ	2
(ヤゴ)コオニヤンマ	8
(ヤゴ)コヤマトンボ	3
(ヤゴ)ミルンヤンマ	1
(ヤゴ)ミヤマアカネ	1
ミナミヌマエビ	15
サワガニ	2
モンキマメゲンゴロウ	3
コオイムシ	1

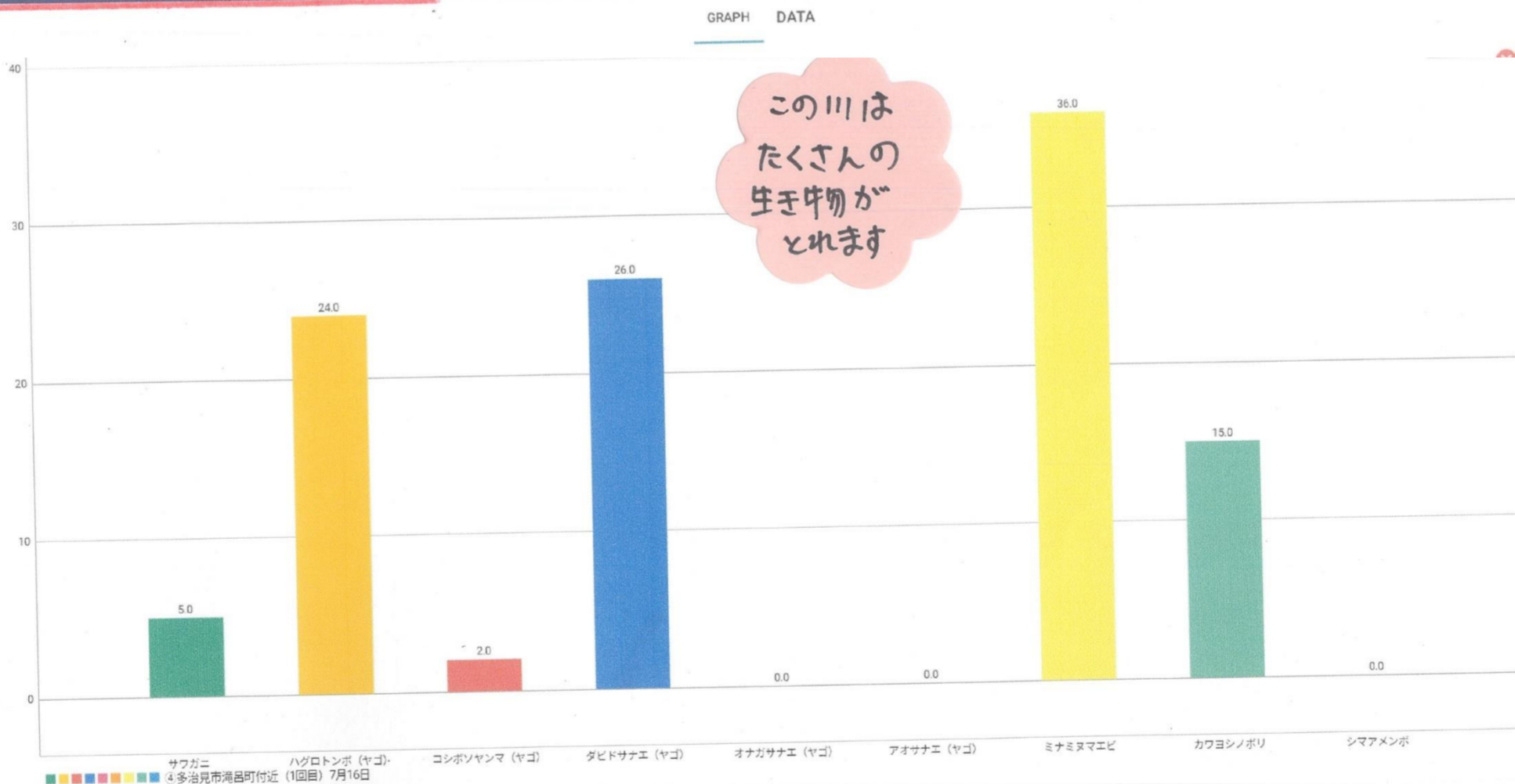
③大畑町と同じで生き物がたくさんとれました。

ここはあまり、大雨で川の様子は変化していませんでした。

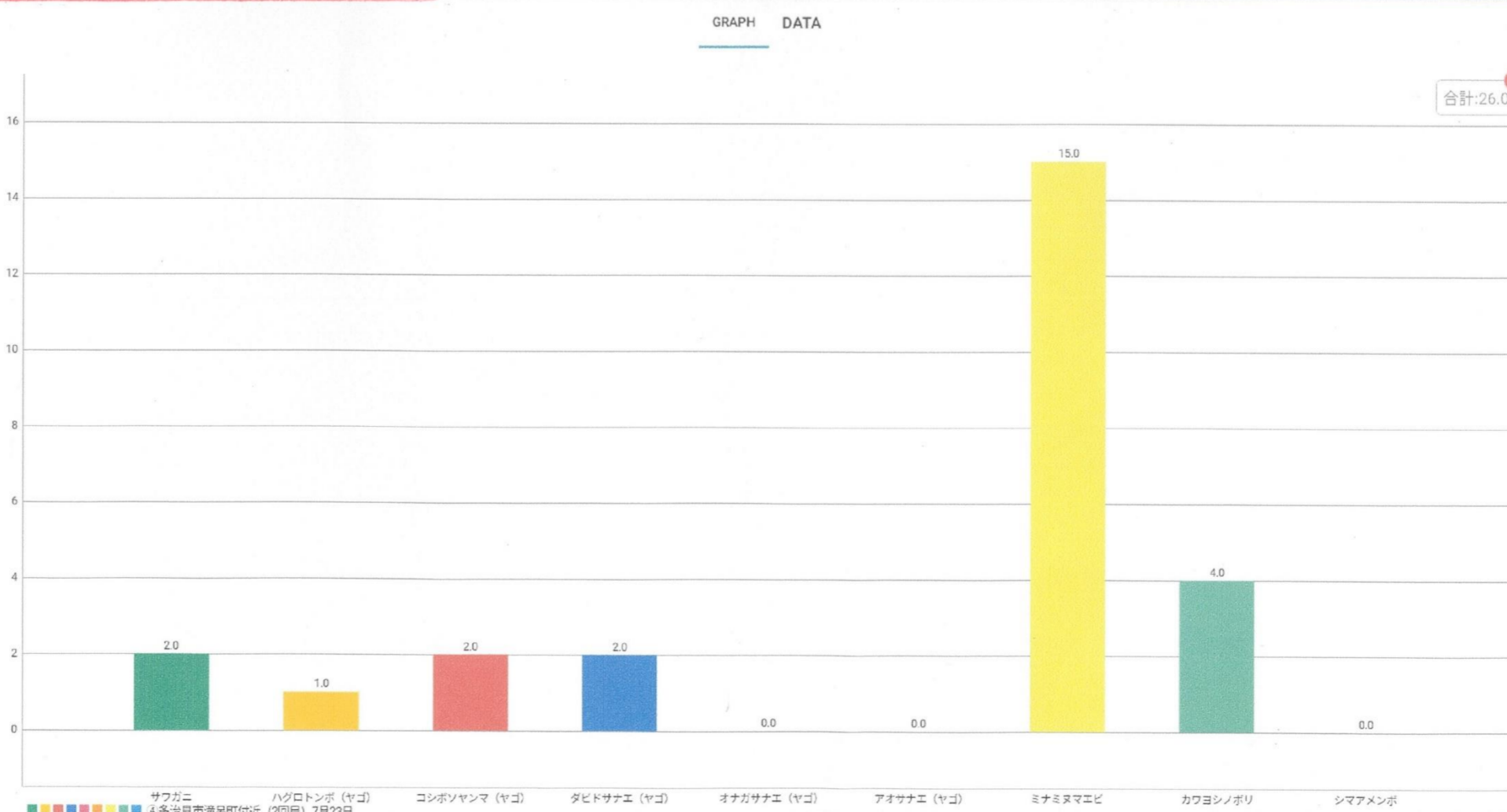
それについて、これから調べたいです。

トノサマガエル
(おたまじゃくし)が
はじめて
とれました



④多治見市滝呂町付近（1回目）7月16日



④多治見市滝呂町付近（2回目）7月23日



⑤ 多治見市笠原町付近 (笠原体育館の近く)

調査日	時間	天気	気温	水温
6月25日	14:30~16:00	晴れ 	29℃	21.7℃
7月22日	14:30~15:30	晴れ 	34℃	24.8℃

今年初めて来た場所です



カルガモがいた

カワセミみたいな鳥を見た



の中はサワガニがよくとれた場所

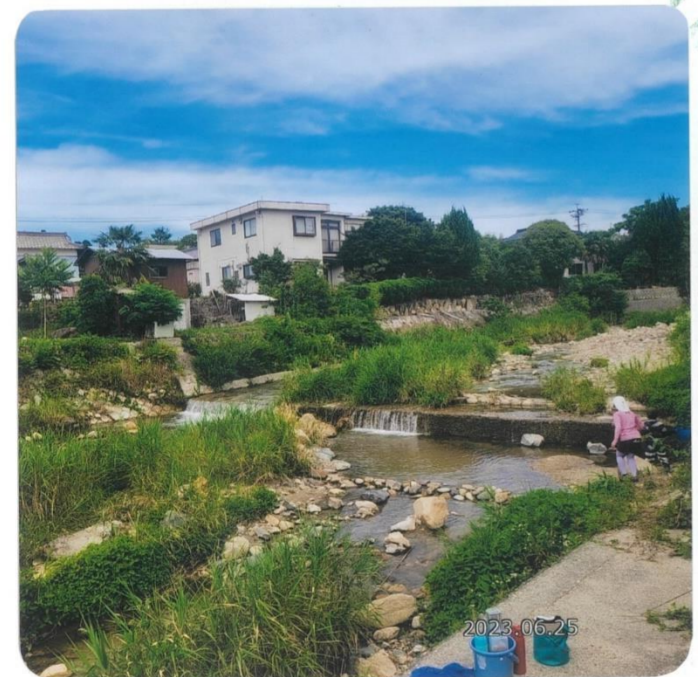


カワヨシノホリのたまごがあった



流れが速くて深い

シマアメンボがたくさんとれた



4か所にくらべて一番水がきれい

1回目も2回目もヤゴが全然とれませんでした。なんでだろう？

⑤笠原町周辺（笠原体育館付近）

1回目 6月25日(日)

カワヨシノボリ	42
カワムツ	1
アブラハヤ	2
ミナミヌマエビ	3
サワガニ	9
ヒゲナガカワトビケラ	3
ヘビトンボの幼虫	1
ガガンボの仲間	3

ここはサワガニが34匹もとれました。
次にカワヨシノボリが42匹もとれました。
ほとんど「ヤゴ」がいなかったのが不思議です。

2回目 7月22日(土)

カワヨシノボリ	35
カワムツ	1
(ヤゴ) ハグロトンボ	2
(ヤゴ) オニヤンマ	1
ミナミヌマエビ	7
サワガニ	34
シマトビケラ	1
モンカゲロウ	1
ガガンボの仲間	4
シマアメンボ	5

上流なので、きれいな水にいる

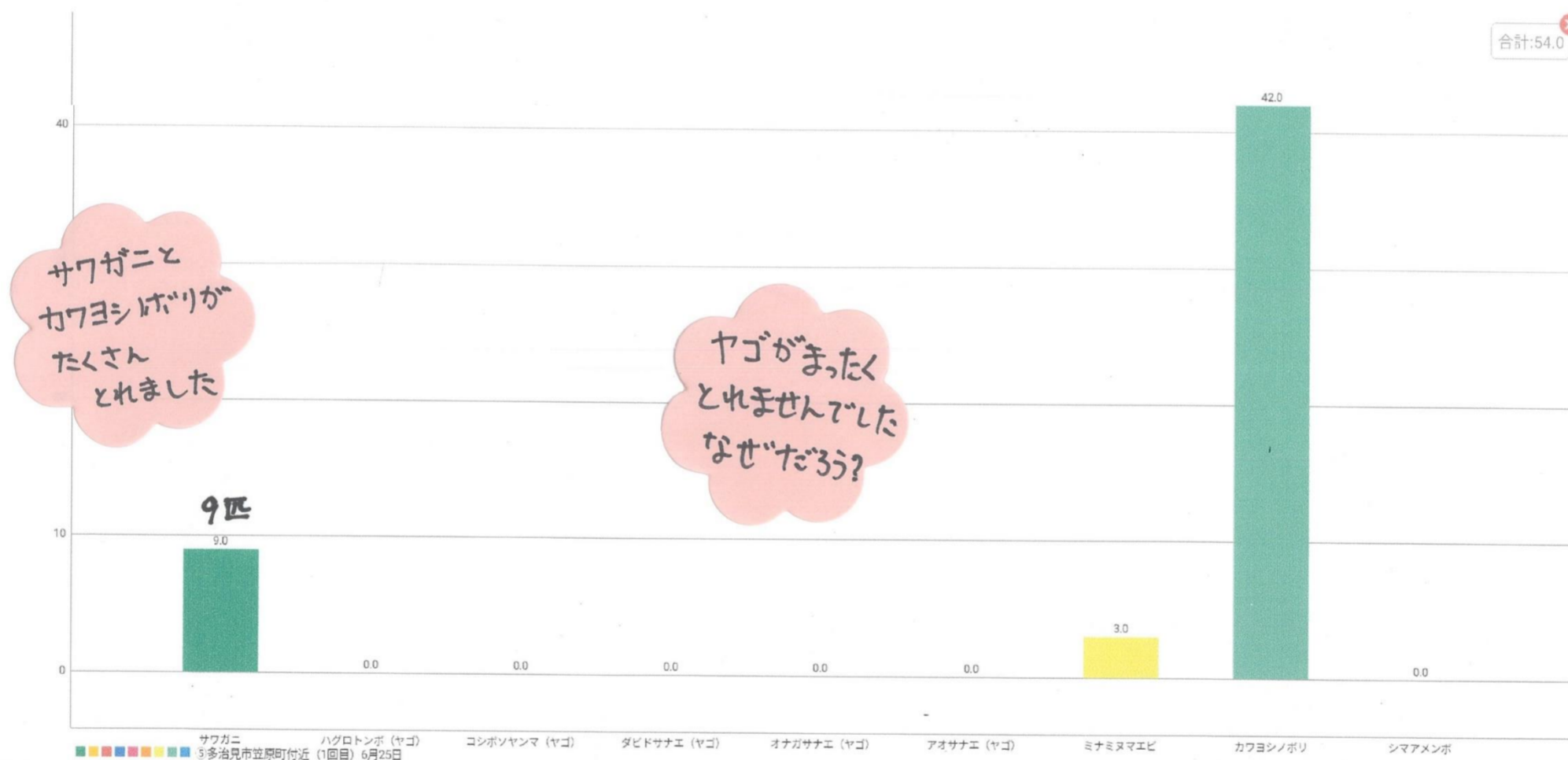
シマアメンボがたくさんいました。

水のきれいな川にいる代表の生き物は

サワガニとシマアメンボです

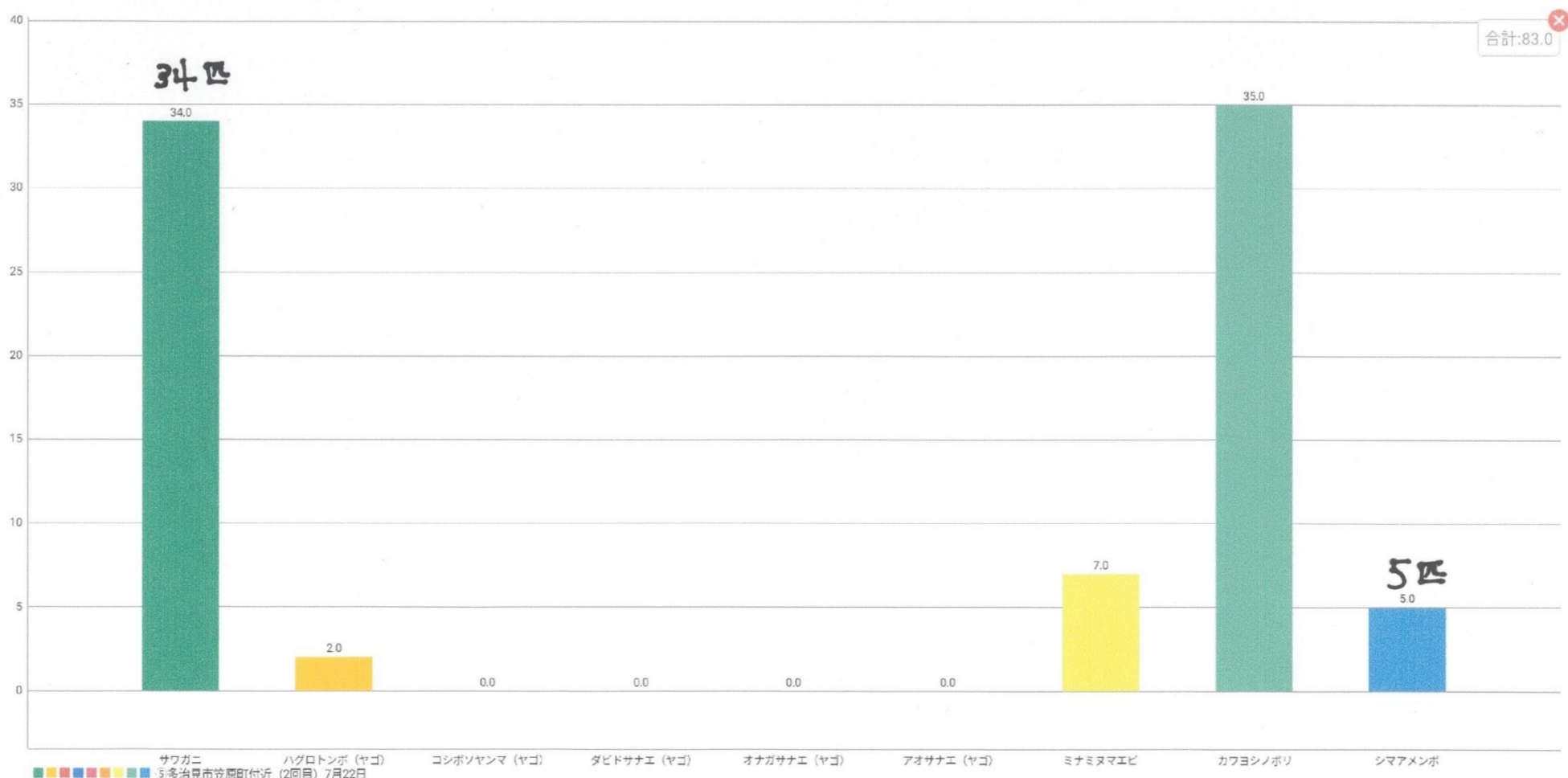
← ⑤多治見市笠原町付近（1回目）6月25日

GRAPH DATA



← ⑤多治見市笠原町付近（2回目）7月22日

GRAPH DATA



6月2日の大雨について

多治見市気象の会吉田信夫様に

6月1日～3日までの雨量と土岐川の水位の

データをいただきました。

そのデータを見ると

雨のふりはじめからたくさんふっている

ことが分かりました。朝の4:00まで

やや強い雨がふりました。

多治見市で大雨けい報が出たのは10:43です。

12:00～13:00は非常に強い雨になり

土岐川の水位もぐんと上がりました。

その後もやや強い雨がふり続き6月3日の2:00に

雨がやみました。この3日間で雨量のピークは

6月2日の12～13:00 29mm. 多治見(土岐川)の水位は

6月2日 15:00に4.27です。

こう雨のじょうきょうは、バケツをひっくり返したような

雨です。

き重なデータをありがとうございました

ました。

多治見（土岐川）水位の時間変化

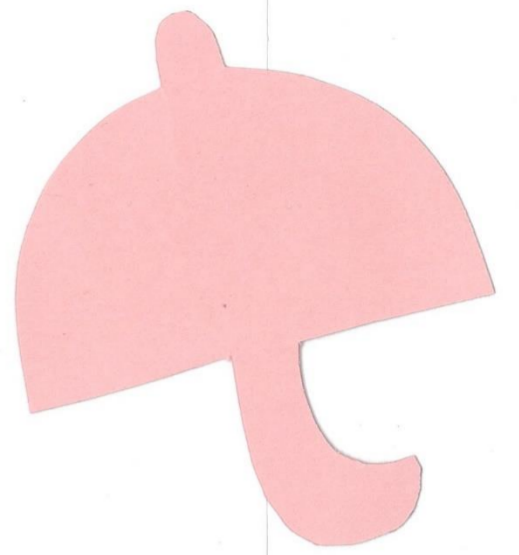
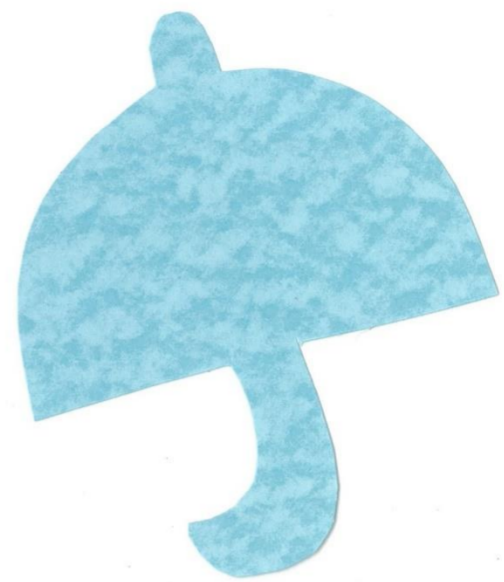
観測所名	多治見（たじみ）
観測項目	水位流量
観測所記号	305081285511030
水系名	庄内川
河川名	庄内川
所在地	岐阜県多治見市豊岡町3丁目
緯度経度	北緯 35度20分03秒
	東経 137度07分37秒
最新の零点高	T.P. 90.303m
零点高履歴	T.P. 90.303m

引用文献：国土交通省 水文水質データベース

年月日	時刻	水位(m)
2023/6/1	01:00	0.87
2023/6/1	02:00	0.86
2023/6/1	03:00	0.86
2023/6/1	04:00	0.85
2023/6/1	05:00	0.85
2023/6/1	06:00	0.85
2023/6/1	07:00	0.84
2023/6/1	08:00	0.83
2023/6/1	09:00	0.82
2023/6/1	10:00	0.82
2023/6/1	11:00	0.83
2023/6/1	12:00	0.82
2023/6/1	13:00	0.82
2023/6/1	14:00	0.82
2023/6/1	15:00	0.81
2023/6/1	16:00	0.82
2023/6/1	17:00	0.81
2023/6/1	18:00	0.82
2023/6/1	19:00	0.82
2023/6/1	20:00	0.81
2023/6/1	21:00	0.81
2023/6/1	22:00	0.81
2023/6/1	23:00	0.81
2023/6/1	24:00	0.86
2023/6/2	01:00	0.93
2023/6/2	02:00	1.09
2023/6/2	03:00	1.22
2023/6/2	04:00	1.24
2023/6/2	05:00	1.37
2023/6/2	06:00	1.34
2023/6/2	07:00	1.35
2023/6/2	08:00	1.42
2023/6/2	09:00	1.49
2023/6/2	10:00	1.59
2023/6/2	11:00	1.80
2023/6/2	12:00	2.05
2023/6/2	13:00	2.51
2023/6/2	14:00	3.70
2023/6/2	15:00	4.27
2023/6/2	16:00	3.97
2023/6/2	17:00	3.37
2023/6/2	18:00	3.06

大雨けい警発令 10:43~

最高水位



年月日	時刻	水位(m)
2023/6/2	19:00	2.83
2023/6/2	20:00	2.75
2023/6/2	21:00	2.67
2023/6/2	22:00	2.58
2023/6/2	23:00	2.48
2023/6/2	24:00	2.43
2023/6/3	01:00	2.37
2023/6/3	02:00	2.34
2023/6/3	03:00	2.27
2023/6/3	04:00	2.18
2023/6/3	05:00	2.09
2023/6/3	06:00	2.02
2023/6/3	07:00	1.94
2023/6/3	08:00	1.87
2023/6/3	09:00	1.81
2023/6/3	10:00	1.75
2023/6/3	11:00	1.68
2023/6/3	12:00	1.63
2023/6/3	13:00	1.58
2023/6/3	14:00	1.54
2023/6/3	15:00	1.50
2023/6/3	16:00	1.48
2023/6/3	17:00	1.44
2023/6/3	18:00	1.42
2023/6/3	19:00	1.39
2023/6/3	20:00	1.37
2023/6/3	21:00	1.35
2023/6/3	22:00	1.33
2023/6/3	23:00	1.32
2023/6/3	24:00	1.30

自主避難の目安雨量

- 連続雨量が100mmを超え、かつ時間雨量が30mmを超えたとき。
- 連続雨量が150mmを超え、かつ時間雨量が20mmを超えたとき。
- 連続雨量が200mmを超え、かつ時間雨量が10mmを超えたとき。

時間雨量の目安

時間あたりの雨量	降雨の状況
8~15mm未満（やや強い雨）	雨の降る音が聞こえる
15~20mm未満（強い雨）	地面一面に水たまりができる 雨の音で話がよく聞き取れない 寝ている人の半数くらいが気づく
20~30mm未満（激しい雨）	どしゃ降りになり傘をさしてもぬれる
30~50mm未満（非常に激しい雨）	バケツをひっくり返したように降る
50mm以上（猛烈雨）	滝のように降る

自主避難の目安雨量のみを掲載しているので、雪崩は対象外です。

多治見市内時間雨量

引用文献：多治見市雨量観測データ（多治見市Web ページ）及び気象庁Web ページ

時刻	アメダス	小泉中学校	北陵中学校	共栄小学校	笠原消防署	市之倉小学校	南姫中学校
2023-06-01 00:00~01:00	0	0	0	0	0	0	0
2023-06-01 01:00~02:00	0	0	0	0	0	0	0
2023-06-01 02:00~03:00	0	0	0	0	0	0	0
2023-06-01 03:00~04:00	0	0	0	0	0	0	0
2023-06-01 04:00~05:00	0	0	0	0	0	0	0
2023-06-01 05:00~06:00	0	0	0	0	0	0	0
2023-06-01 06:00~07:00	0	0	0	0	0	0	0
2023-06-01 07:00~08:00	0	0	0	0	0	0	0
2023-06-01 08:00~09:00	0	0	0	0	0	0	0
2023-06-01 09:00~10:00	0	0	0	0	0	0	0
2023-06-01 10:00~11:00	0	0	0	0	0	0	0
2023-06-01 11:00~12:00	0	0	0	0	0	0	0
2023-06-01 12:00~13:00	0	0	0	0	0	0	0
2023-06-01 13:00~14:00	0	0	0	0	0	0	0
2023-06-01 14:00~15:00	0	0	0	0	0	0	0
2023-06-01 15:00~16:00	0	0	0	0	0	0	0
2023-06-01 16:00~17:00	0	0	0	0	0	0	0
2023-06-01 17:00~18:00	0	0	0	0	0	0	0
2023-06-01 18:00~19:00	0	0	0	0	0	0	0
2023-06-01 19:00~20:00	0	0	0	0	0	0	0
2023-06-01 20:00~21:00	0	0	0	0	0	0	0
2023-06-01 21:00~22:00	0	0	0	0	0	0	0
2023-06-01 22:00~23:00	0	0	0	0	0	0	0
2023-06-01 23:00~00:00	12	11.5	10	11	14	12.5	8.5
2023-06-02 00:00~01:00	5.5	5.5	5.5	5.5	7	5	8.5
2023-06-02 01:00~02:00	7	10	11	6	4.5	4.5	15.5
2023-06-02 02:00~03:00	4.5	5.5	5.5	4	3.5	4	6
2023-06-02 03:00~04:00	7.5	7	7	7	6	7	5.5
2023-06-02 04:00~05:00	1	1	1	1	0.5	0.5	2
2023-06-02 05:00~06:00	3.5	4	3.5	3.5	6	5.5	3.5
2023-06-02 06:00~07:00	4.5	4.5	4.5	5	4	3.5	4
2023-06-02 07:00~08:00	5.5	5.5	5.5	5.5	7	6.5	7
2023-06-02 08:00~09:00	3.5	3.5	3.5	3.5	4.5	4.5	3.5
2023-06-02 09:00~10:00	6.5	9	7	6	16	13	5
2023-06-02 10:00~11:00	4.5	4.5	4.5	4	6	6	4.5
2023-06-02 11:00~12:00	10	9	9.5	14	14	14.5	9.5
2023-06-02 12:00~13:00	29	28	28	25.5	32.5	22.5	30
2023-06-02 13:00~14:00	25.5	23.5	24	31.5	34.5	34.5	19
2023-06-02 14:00~15:00	4.5	4.5	4.5	4	3.5	4.5	5.5
2023-06-02 15:00~16:00	9.5	9.5	10	9.5	9	9	8.5
2023-06-02 16:00~17:00	2.5	3	2.5	2.5	4	3.5	3
2023-06-02 17:00~18:00	4	3.5	4	4	2.5	2.5	3.5
2023-06-02 18:00~19:00	4.5	5	5.5	5	8	6	4.5
2023-06-02 19:00~20:00	2	1.5	2	1.5	2	2	2.5
2023-06-02 20:00~21:00	2.5	3	2.5	3.5	4.5	4.5	2
2023-06-02 21:00~22:00	2.5	2.5	2	2	2.5	2	2
2023-06-02 22:00~23:00	2	1.5	2	2	2.5	2.5	1.5
2023-06-02 23:00~00:00	3.5	3.5	3	3	3.5	2.5	3.5
2023-06-03 00:00~01:00	2	2	2.5	3	2.5	2	1.5
2023-06-03 01:00~02:00	0.5	0.5	0.5	0	1	0.5	0
2023-06-03 02:00~03:00	0	0	0	0	0	0.5	0.5
2023-06-03 03:00~04:00	0	0	0	0.5	0.5	0	0
2023-06-03 04:00~05:00	0	0	0.5	0	0	0	0
2023-06-03 05:00~06:00	0.5	0.5	0	0	0	0	0
2023-06-03 06:00~07:00	0	0	0	0	0	0	0

大雨情報発令10:43~

最高雨量

土山支川 観察館の富田さんに
川の安定せいについて孝文してもらい
ました。

川の中流以上では、ヒゲナガカワトビケラや
シマトビケラなど、河床の転石や岩の間に
あみをはって生活する 造網性のトビケラの量が多い。

これらは、岩の表面やすき間に巣を作り、
そこに糸で糸網を張って流下してくる
微粒子を集めて食べる。

もしも川底の石ころが激しく転がるようなことが
あれば、巣はこわれ、彼らの生存がおびやかされる。

つまり、彼らの数が多いのは川底が安定している
しょうと考えることができる。



トビケラの巣



5か所でとれた生き物の説明

自分から見た生き物のオススメポイント

専門的な生き物の説明



とれた場所

1 2 3 4 5

がさがさを始めたばかりの人にオススメです。石にくっ付いているのでたくさんとれます。体やヒレの色がきれいな物もいるので見つけると楽しいです。

カワヨシノボリ
ハゼ科
・体長-5~10cm
・じゅ命-3~4年
・住んでいる所-流れのゆるやかな河川、底石などにくっ付いている
・オスとメスの見分け方
オス-前と後のせびれの形がちがう
メス-前と後のせびれの形が同じ



1

はんしゅく期になるととてもきれいなオレンジ色になるのでオススメです。大きな物がとれるととてもうれしくなる魚です。

オイカワ
コイ科
・体長-11~15cm
・じゅ命-4~5年
・住んでいる所-河川の中~下流、都市近こうでもよくみられる
・オスとメスの見分け方
オス-メスよりも体が大さく春~夏に体の色が変わる
メス-オスよりも体が小さい



1 2 3 5

オイカワと同じで大きい物や色がきれいな物がかまえられると、とてもうれしいし、楽しくなる魚です。

カワムツ
コイ科
・体長-10~15cm
・じゅ命-5~8年
・住んでいる所-岩のあいたや水面に出た植物の下などにかくれている
・オスとメスの見分け方
オス-のどからはらにかけて赤みがかっている
メス-のどからはらにかけて赤みがかっていない



とれた場所

5

アブラハヤは黒い帯がカワムツに似ています。アブラハヤの名前の由来はアブラみたいにヌルヌルしている所で、さわってみるとほんとうにヌルヌルしていてビックリです。

アブラハヤ

- コイ科
- 体長-9~13cm
- じゅ命-4~6年
- 住んでいる所-川の上流 石少れ、さていや川岸の下
- オスとメスの見分け方
- オス-メスよりも小さい
- メス-オスよりも大きい



準絶めつ危ぐ種

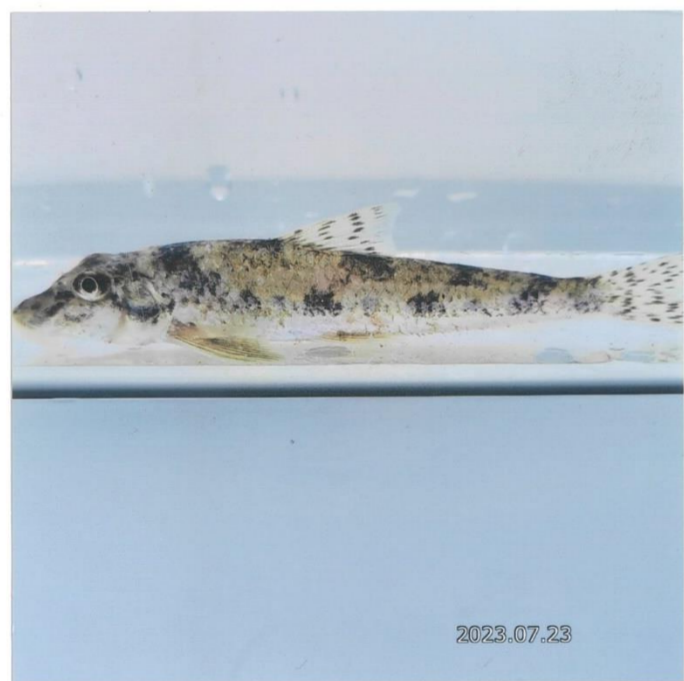
2023.07.23

4

カラドジョウはひげがはえているのでおじいさんにも見えますが、顔を真正面から見るとまゆもが立っている、勇しい男にも見えます。

カラドジョウ

- ドジョウ科
- 体長-10~20cm
- じゅ命-1~2年
- 住んでいる所-水田、水路の泥底
- オスとメスの見分け方
- オス-オスはむなびれがのびて先がとがる
- メス-メスはむなびれがみじかく先が丸い



2023.07.23

4

カマツカもカラドジョウと同じでひげがはえていておじいさんのように見えますが、顔はきつねの顔に似ているような気がします。そしてカマツカがとれると私はとびはねるほどうれしくなります。

カマツカ

- コイ科
- 体長-18~21cm
- じゅ命-3~4年
- 住んでいる所-流れのゆるやかな石少り
- オスとメスの見分け方
- (カマツカはオスとメスを見分けるのがむずかしい)
- オス-はんしょく其期になると豆頭部に小さくてかたい、イボのような物ができる



2023.07.17

1

3

アオサナエ(ヤゴ)は少しだけオナガサナエ(ヤゴ)に似ていますがアオサナエのよう虫は体がプクとなっているし、角が細そ長いです

アオサナエ(ヤゴ)

- サナエトンボ科
- 体長-40~45mm
- よう虫其期間-約2年
- 住んでいる所-流れの早い所の石の下や植物の根まわ



とれた場所

- 2
- 3
- 4

オナガサナエ(ヤゴ)は
 ダビドサナエ(ヤゴ)に
 似ていますが羽が
 開いている所やしゃ角
 などがちがいます
 オナガサナエ(ヤゴ)は
 しゃ角の形がしゃもじ
 みたいでおも白いです

オナガサナエ(ヤゴ)
 ・サナエトンボ科
 ・体長-27~30mm
 ・よう虫期間-約2年
 ・住んでいる所-流れのはやい
 所の石の下



2023.07.23

ダビドサナエ(ヤゴ)は
 とても平たくて、
 たくさんの毛が
 はえています。
 よくとれるので
 オススメです。

ダビドサナエ(ヤゴ)
 ・サナエトンボ科
 ・体長-17~20mm
 ・よう虫期間-約2年
 ・住んでいる所-岸に近い
 石や砂の下にもぐる

- 1
- 2
- 3
- 4

注目!!
 今年は緑色が
 とれました
 なんて
 緑色なんだろう?



2023.07.16

ハグロトンボ(ヤゴ)は
 細そ長くて
 指の上のにのせたく
 なります。
 とれると、うれしくなる
 生き物です。

ハグロトンボ(ヤゴ)
 ・カワトンボ科
 ・体長-22~27mm
 ・よう虫 期間-約2年
 ・住んでいる所-水生植物が
 一面においしげる 流れの
 ゆるやかな所

- 1
- 2
- 3
- 4
- 5



2023.07.17

コヤマトンボ(ヤゴ)は
 見た目は虫のクモ
 みたいで少しこわい
 かんじがするけど、
 うら返すと、ねこみたいな
 彦顔でかわいいです。
 おもわずチュールをあげたく
 なります。

コヤマトンボ(ヤゴ)
 ・エゾトンボ科
 ・体長-26~31mm
 ・よう虫期間-約2年
 ・住んでいる所-川の中~下流の
 流れのゆるやかな石や
 どろの中にかくれて
 いる



- 1
- 3
- 4
- 5



とれた場所

4

ミルンヤンマ(ヤゴ)は
コシボソヤンマ(ヤゴ)に
そっくりです。

ですが「豆頁のよこのとげが
ないのが特ちょうです

せなかのとげで種類が決まる
時もあるのでヤゴをつかまえた

いろいろな角度から特ちょうを見てくださ

ミルンヤンマ(ヤゴ)
ヤンマ科
・体長-40~43mm
・よう虫其月間-約2年
・住んでいる所-河川
源流~上流

コシボソヤンマ(ヤゴ)

ミルンヤンマ(ヤゴ)



1 5

ヘビトンボは
「トンボ」とつきますが
トンボではありません。
由来は成虫が
ヘビのようにかみつ
たからだそうです

ヘビトンボ(よう虫)
ヘビトンボ科
・体長-40~60mm
・よう虫其月間-2~3年
・住んでいる所-河川
けい流



1 3

シオカラトンボ(ヤゴ)も
今年とれた生き物です
ふつうに成虫は去年も
みましたがヤゴがとれた
のでうれしいです
とれた人は150ポイント!

シオカラトンボ(ヤゴ)
トンボ科
・体長-19~25mm
・よう虫其月間-2~8か月
・住んでいる所-せせ沼
水田など



口に注目

コヤマトンボ(ヤゴ)と
口が似ているよ
う返して
みて!

私はコシアキトンボという
名前を初めて聞きました。
コシボソヤンマという名前と
似ていておもしろいです。

コシアキトンボ(ヤゴ)
トンボ科
・体長-17~21mm
・住んでいる所-池や
沼の流水の無い所

1 2 3



× シオカラトンボ(ヤゴ)に
食べられてしまったので
写真をとれませんでした。

この写真はネットから借りました



・ショウジョウトンボの幼虫(ヤゴ)



♂の特徴の副生殖器らしきものが見える

3

今年つかまえました。
なかなかみっからない
のでつかまえられた
人は100ポイントです!
ぜひつかまえてみて
ください

ショウジョウトンボ(ヤゴ)
・トンボ科
・体長-18~21mm
・よう虫期間-約69日
・住んでいる所-植物の
中根元



とれた場所

2

3

4

コシボソヤンマ(ヤゴ)は
水から出ると
シャチホコのように
体がそります。
それがとても
おもしろいです。

コシボソヤンマ(ヤゴ)
・ヤンマ科
・体長-40~44mm
・よう虫期間-1~2年
・住んでいる所-川の上流
植物の根元、石に
つかまっている



1

2

3

4

コオニヤンマ(ヤゴ)は
ヤンマとつくのに
サナエトンボ科なのが
おどろきです!
コオニヤンマ(ヤゴ)は
とても平たいので
落ち葉みたいで
かわいいです。

コオニヤンマ(ヤゴ)
・サナエトンボ科
・体長-30~35mm
・よう虫期間-2~4年
・住んでいる所-流れの
早い石の下、植物の
根きわ



5

オニヤンマ(ヤゴ)も
今年つかまえられた
生き物です。
コオニヤンマ(ヤゴ)とは
名前が似ていても
見た目がまったくちがうので
おも白いです。

オニヤンマ(ヤゴ)
・オニヤンマ科
・体長-40~45mm
・よう虫期間-3~5年
・住んでいる所-小川、系田
水路

ミヤマアカネは
ミルンヤンマと
名前が似ていますが
見た目がまったく
ちがいます。



4

ミヤマアカネ(ヤゴ)
トンボ科
・体長-30~35mm
・よう虫期間-1.5~3か月
・住んでいる所-河川

ヤマサナエ(ヤゴ)は
オニヤンマ(ヤゴ)に
見た目が似ていますが
食角やおしりのとけ
などがちがいます。



2

ヤマサナエ(ヤゴ)
・サナエトンボ科
・体長-30~40mm
・よう虫期間-2~4年
・住んでいる所-中~上流

ハリガネムシは
きせい虫です。
調べるとカマキリに
よくきせいしている
ようです。



3

ハリガネムシ
・体長-7~8cm
・じゅ命-約1年
・住んでいる所-川、池

ヤマトアオドウガネは
去年つかまえた
コアオハナムグリに
少し似ていますが
体のもようがちが
います。



3

ヤマトアオドウガネ
・コガネムシ科
・体長-17~26mm
・住んでいる所-林やその
周辺

モンキマメゲンゴロウは

動きが早いので
写真をとるのが
むずかしいです。
でも、見た目が
かわいいです。

モンキマメゲンゴロウ

- ・ゲンゴロウ科
- ・体長-6.5~8.7mm
- ・じゅ命-約2年
- ・住んでいる所-川の
上~中流、池などの
石の下にかくれて生活



とれた場所 07.23

- 2
- 3
- 4

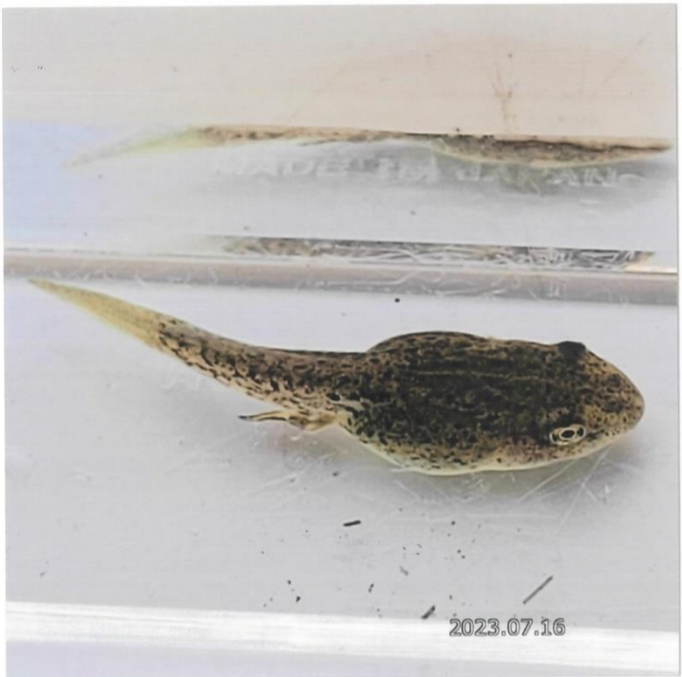
トノサマガエル(オタマジクシ)は

つかまえらると
とってもうれしく
なります。

つかまえられた人は
200ポイント!

トノサマガエル(オタマジクシ)

- ・アマガエル科
- ・体長-69mm
- ・じゅ命-3~4年
- ・住んでいる所-池、水田
- ・オスとメスの見分け方
オス-全体的に緑色
メス-白っぽい



- 4

ミナミヌマエビも
カワヨシノボリと同じで
たくさんとれるので
色々な人に
オススメです。

ミナミヌマエビ

- ・ヌマエビ科
- ・体長-2~3cm
- ・じゅ命-2~3年
- ・住んでいる所-河川の
流れがゆるやかな所
- ・オスとメスの見分け方
オス-体はのびている
メス-体はまるい



- 1
- 2
- 3
- 4
- 5

ヒゲナガカワトビケラ(よう虫)は
私が一番好き生き物
です。巣がとってもきれいで、
かわいいのでオススメです
ぜひ見てみてください!

ヒゲナガカワトビケラ(よう虫)

- ・ヒゲナガカワトビケラ科
- ・体長-30~40mm
- ・じゅ命-数日~数週間
- ・住んでいる所-きれいな
河川



- 5

これが
巣です



シマトビケラ(よう虫)も
今年つかまえられた
生き物です。トビケラの
巣は私が一番好きなので
ぜひさがしてみてください!!

シマトビケラの仲間(よう虫)
・シマトビケラ科
・体長-約1cm
・じゅ命-数日~数週間
・住んでいる所-河川の
上流~中流



とれた場所

2

ガガンボ(よう虫)は
見た目がいも虫のよう
な感じで、
さわってみると
すごくむにゅむにゅしていて
おもしろいです。

ガガンボ(よう虫)
・ガガンボ科
・体長-4~7cm
・じゅ命-約10~15日
・住んでいる所-池、沼



3 5

コオイムシも今年
つかまえられた
生き物です。
とれると、とても
うれしくなります!

コオイムシ
・コオイムシ科
・体長-17~20cm
・じゅ命-約2年
・住んでいる所-池、沼
・オスとメスの見分け方
オス-たまごをせおう



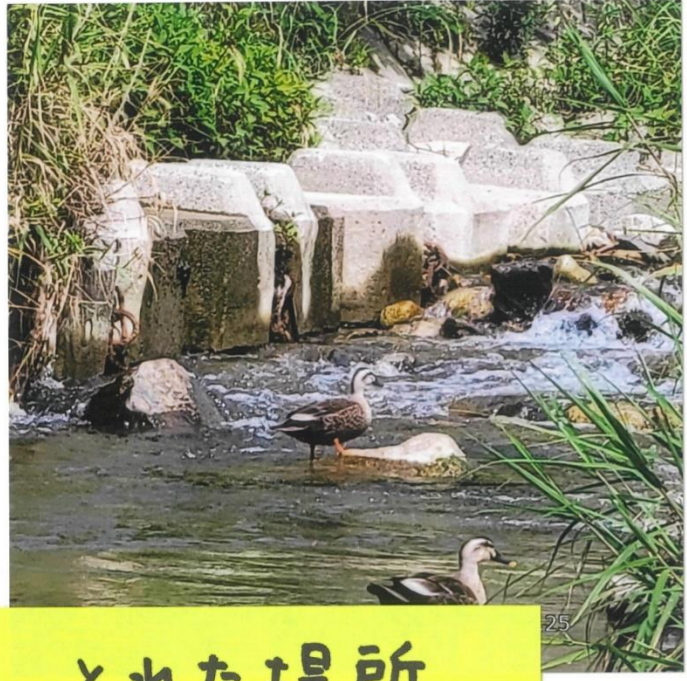
4

チュウダイサキは
とてもきれいで
かこいいです。
土岐川と笠原川の合流
地点によくいるので
行ってみてください!

チュウダイサキ
・サキ科
・体長-80~100cm
・じゅ命-約15年
・住んでいる所-水田、川



1



とれた場所

5

カルガモは親子で
いっしょにいる時が
一番かわいいです。
ぜひ
見てみてください

カルガモ

- カモ科
- 体長-53~63cm
- じゅ命-5~10年
- 住んでいる所-河川
海上など



2023.07.16

1

2

3

4

5

ハグロトンボは
羽が黒くて体が
細くてとても
かっこいいです。
トンボの中で
一番好きなの
トンボです。

ハグロトンボ

- カワトンボ科
- 体長-56~67mm
- じゅ命-約一週間



この写真はネットから借りました

1

2

3

4

5

シオカラトンボは
小さくて、水色な
所がかわいくて
トンボの中で2番目に
好きです。

シオカラトンボ

- トンボ科
- 体長-48~57mm
- じゅ命-約30日



2023.07.16

1

3

5

オニヤンマは
色々な所にいて
有名です
コオニヤンマや
ダビドサナエに
似ています。

オニヤンマ

- オニヤンマ
- 体長-85~100mm
- 成虫期間-1~2か月



とれた場所

モンカゲロウは
せなかの部分に
ピロピロしている
わたみみたいな物が
ついていて
不思議な動きを
します。

モンカゲロウ(よう虫)
・コカゲロウ科
・体長-20mm
・よう虫期間-半年
・住んでいる所-水底に
たまた砂泥にかくれる

4



私ははじめて①目のあるたまごと
ないたまごと、うまれてたまごから
でてきているたまごが3つ
付いている
石を見ました
カワヨシホリは
一つの石に②か所
たまごを産むと
聞いたので
本当に
見れて
感重か しました

カワヨシホリのたまご

・大きさ-約8mm
・たまごの数
約100つ

5
②目のまだないたまごの
かたまり

①目のできていた
たまごのかたまり



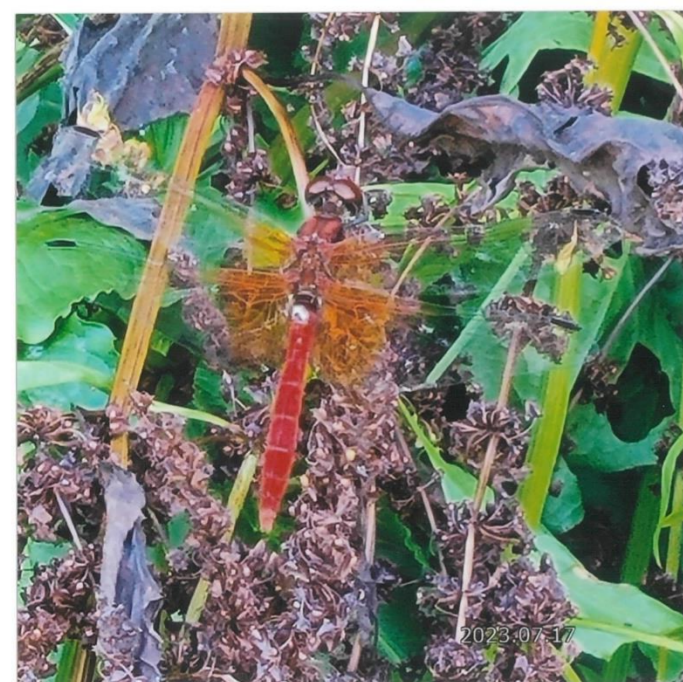
3

ヒルは木の中
にいると思っていたけど
川でとれたので
意外と色々な所に
いるんだなと
思いました

(田植えのお手伝いをはだ足で
していたらヒルに5か所さされたことが
あります)

ヒル

・ヤマビル科
・体長-2~3cm
・じゅ命-3~5年
・住んでいる所-山木木
日かげでしっけが
多い所



3

ショウジョウトンボは
よく川の上を
とんでいるので
ぜひ見てみて
ください

ショウジョウトンボ

・トンボ科
・体長-4cm
・じゅ命-1か月
・住んでいる所-池



とれた場所

- 2
- 3
- 4
- 5

サワガニは大きな物がつかまえられるとうれしいし、小さな物がつかまえられるとかわいいと思います。

サワガニ

- ・サワガニ科
- ・体長-2~3cm
- ・じゃ命-約10年
- ・住んでいる所-川の上流
- ・オスとメスの見分け方
- オス-おなかのこきゅうきかんが細そ長い三角形
- メス-こきゅうきかんがまるい三角形



- 1
- 4

アメリカザリガニは大きくても小さくてもとれただけでうれしくなれます。とれたら105ポイント

おぼくはオスだよ!

アメリカザリガニ

- ・アメリカザリガニ科
- ・体長-約12cm
- ・じゃ命-約5年
- ・住んでいる所-沼、池、水田、川
- ・オスとメスの見分け方
- オス-メスよりはさみが大きい
- メス-おなかの足がオスより長い

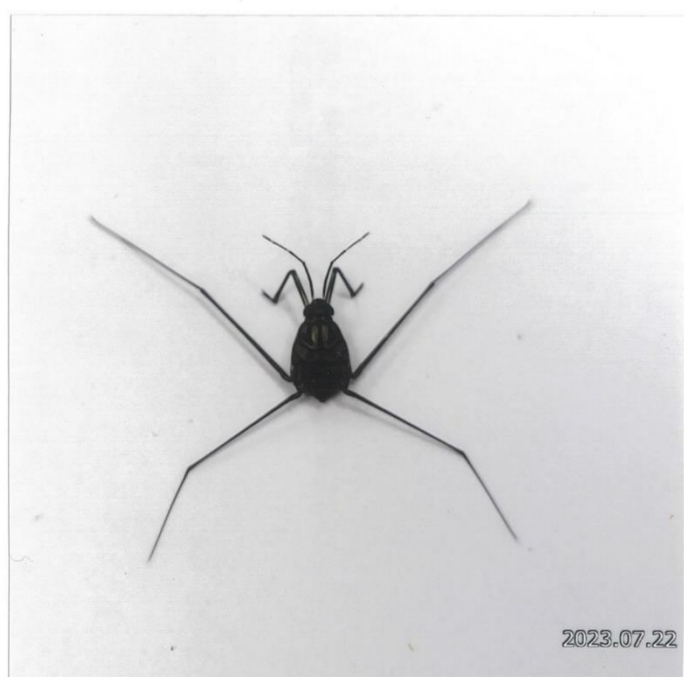


- 1
- 3

アメンボもよくとれるので初めての人にオススメです。アミに入っているもどこかに行ってしまうので気をつけてください

アメンボ

- ・アメンボ科
- ・体長-2~3cm
- ・じゃ命-約1か月
- ・住んでいる所-川の中~下流、池、水路など
- ・オスとメスの見分け方
- オス-メスより体が小さい
- メス-オスより体が大きい



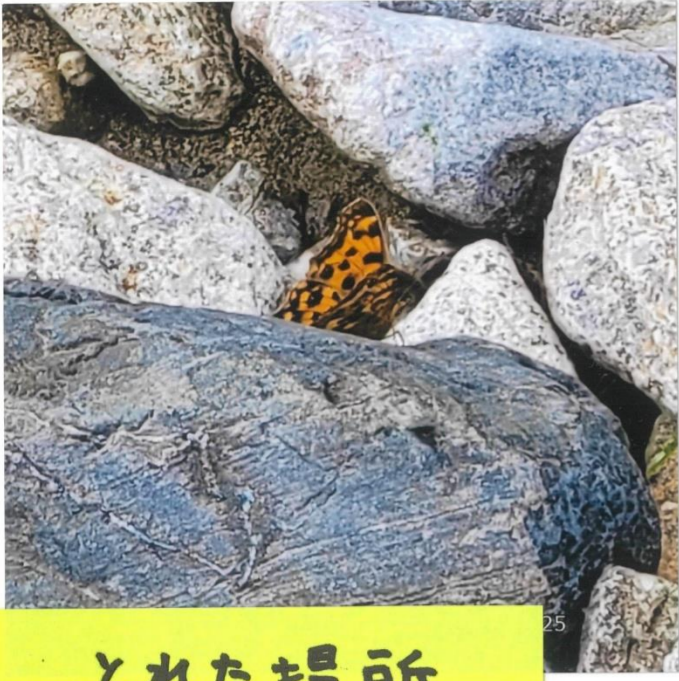
- 3
- 5

シマアメンボは丸くて、小さくて、タテウミみたいなもようが特ちょうです。



シマアメンボ

- ・アメンボ科
- ・体長-約5mm
- ・じゃ命-約3年
- ・住んでいる所-小川、水がたまっている所



とれた場所

5

キタテハは
はねのオレンジ色と
黒色がとても
きれいなので
オススメです。

キタテハ(夏)

- ・タテハチョウ科
- ・体長-22~34mm
- ・じゅ命-2週間~10か月



2023.07.16

4

チュウガタシロガネグモは
足がとても長くて
約10cmなので
大きいクモです。

チュウガタシロガネグモ

- ・アシナガグモ科
- ・体長-8~13cm
- ・オスとメスの見分け方
オス-メスより小さい
メス-オスより大きい

令和5年 8月3日(木)



庄内川(愛知県清須市西枇杷島町±庄内)みずとぴあ庄内

バスで行く土岐川下流探検隊 庄内川へ行こう

土岐川の下流には
どんな魚がいるか調べます。

このイベントに参加してきました。



2023.08.03



みずとぴあ
庄内
は
多治見から
約1時間

2023.08.03



2023.08.03

みずとぴあ庄内の館長さんなく員さんにいろいろ教えて
もらいました。ありがとうございました。



8/3 土岐川下流探険隊
 庄内川
 雨
 ○カタヤシタ
 ○スズキ
 ・アユ
 ・ニホンウナギ
 ○カワアナゴ
 ○マハゼ
 ○スミキゴリ
 ○ゴクラクハゼ
 ・ヌマエビ
 ○テナガエビ
 ・ゴオニヤンマ
 ・シジミの仲間
 ○ベンケイガニ
 ・モクズガニ
 2023.08.03



表

スズリエビ



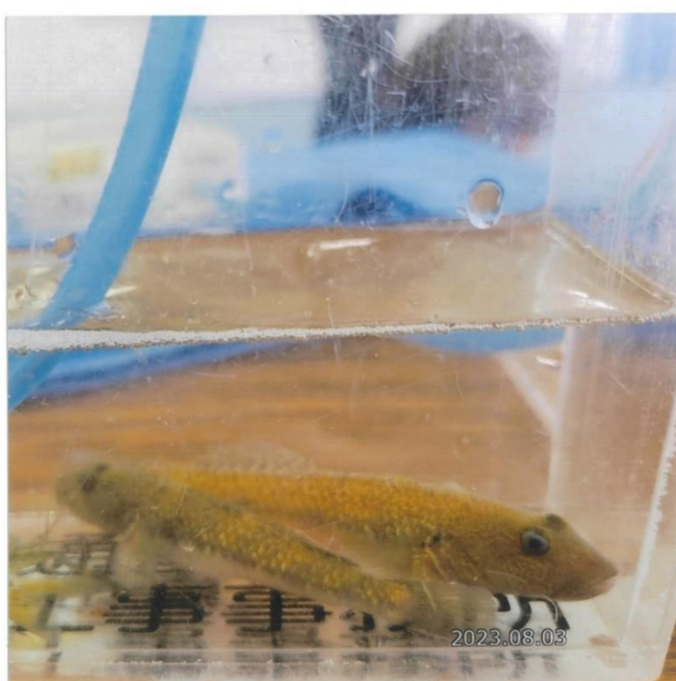
うら



ミシシッポアカミガメ

シジミの仲間

モクズガニ



この川は川底がどろで
 ベンケイガニのあなが
 たくさん空いていました。
 海に近いので

ニホンウナギ

ゴクラクハゼ

しおの満ち引きを見れました



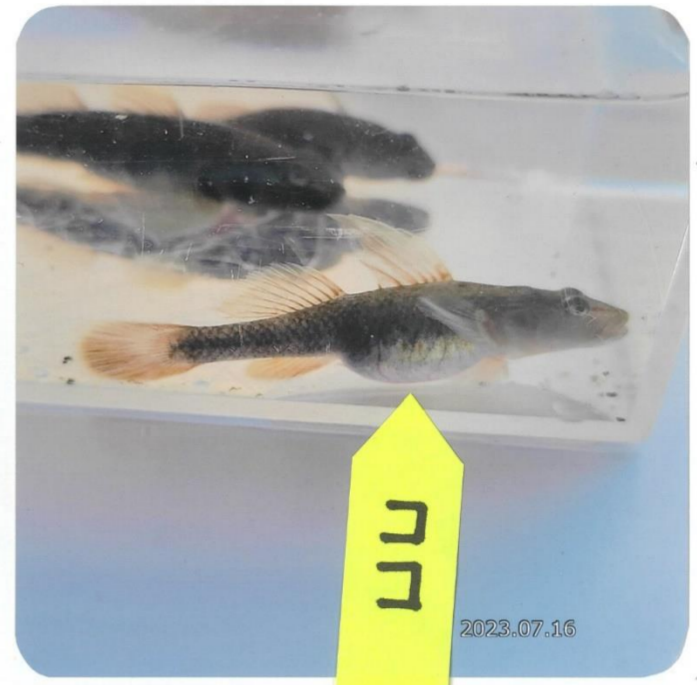
いつもがさがせしている
 所には、いない魚や
 カニがいました。

カタヤシ

ベンケイガニ

カワヨシノボリと寄生虫

7/16 カワヨシノボリをつかまえました。



すると写真のようにおなかの大きなカワヨシノボリがたくさんとれました。

「これはメスでおなかには、たまごが入っているのだらう」と思っていましたか

土山支川観察館で質問してみると

これは寄生虫だと教えていただきました。

カワヨシノボリの産らん時期は5～8月なので

それ以外の時期やおびれやせびれの

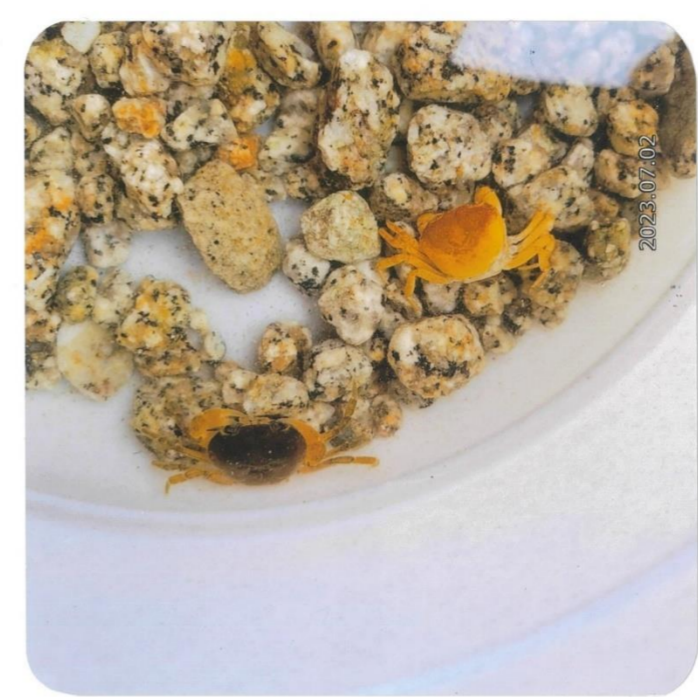
あたりがふくらんでいたら寄生虫です。




気を付けて下さい

寄生虫の名前は ナガラミワソボルス です

人に害があるか分からないので今後調べます。

ヤゴとサワガニの脱皮



6/25 サワガニを
①日沼和田でつかまえてし育するために
家に持ち帰りました。
それから7日してサワガニの水そうをのぞくと
1匹ふえていておどろきました。
なんとふえたように見えたのは
脱皮したサワガニのこうらでした。

8/20 シオカラトンボ(ヤゴ)とコシアキトンボ(ヤゴ)を
③大畑町でつかまえて
写真をとるために家に持ち帰りました。
すると次の日に1匹ふえていておどろきました。
それはシオカラトンボ(ヤゴ)のぬけがらでした。



(ヤゴのぬけがらは食べられてしまったので写真がとれませんでした)

みなさん知っていますか？

令和5年6月1日から
アメリカザリガニと
アカミミガメが
条件付き特定外来生物に
なりました。



アメリカザリガニ

注意! ミシシッピアカミミガメとアメリカザリガニの取り扱いが変わります

アメリカザリガニとは
アメリカ南東部～メキシコ北東部 出身
昭和2年(1927年)に養殖用ウシガエルの餌として、鎌倉市に持ち込まれた20個体が始まりと言われています。
雑食性で、藻類、水草、落葉、小魚、水生昆虫、動物の死骸など何でも食べる。共食いもします。
天敵はオオクチバス、ライギョ、ナマズ、ドンコ、ウシガエル、サギ類、イタチ、カメ、ウナギなど。
2023年5月31日までは、環境省緊急対策外来種

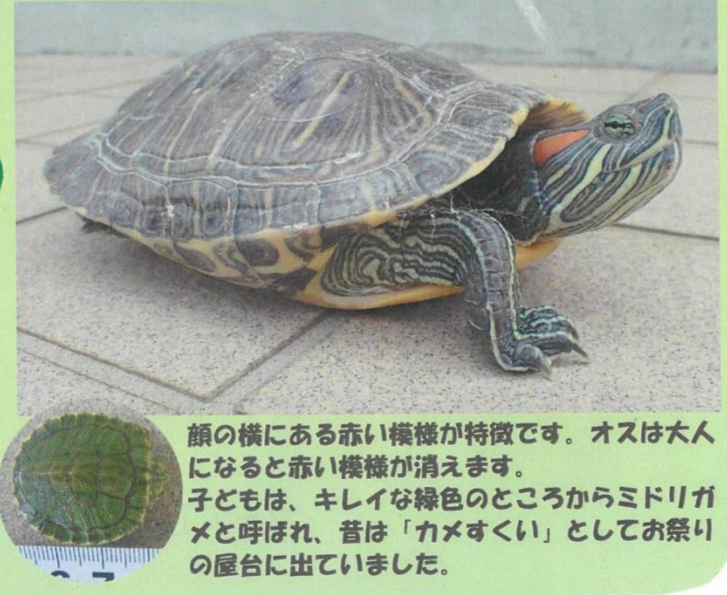


土山支川権見察食官
山本食官長さんの
こうぞで
くわしく
教えてもらいました。

アカミミガメ

・ミシシッピアカミミガメ(ミドリガメ)・キバラガメ・カンバーランドキミミガメの3亜種

ミシシッピアカミミガメとは
アメリカ東南部～メキシコ 出身
1950年代後半から幼体を「ミドリガメ」の通称でペットとして輸入始まりと言われています。
雑食性で、魚類、甲殻類、水生昆虫、水草など何でも食べる。大人は、植物をよく食べる。
繁殖力が強く、ニホンイシガメの生育環境を奪ってしまいます。
2023年5月31日までは、環境省緊急対策外来種



特定外来種と条件付き特定外来種はちがうよ!

特定外来生物との違い	特定外来生物 (オオクチバス・ブルーギル・ウシガエルなど)	条件付特定外来生物 (ミシシッピアカミミガメ・アメリカザリガニ)
従来の特定外来生物は、 ・飼育・移動、保管の禁止 ・野外に放つ ・輸入の禁止 ・譲渡、販売購入の禁止	移動・飼育 (禁止) 逃がす (禁止) 販売・購入 (禁止)	移動・飼育 (許可) 逃がす (禁止) 販売・購入 (禁止)
条件付特定外来生物は、上記のうち ・野外に放つ ・輸入の禁止・販売購入の禁止になります。		移動・飼育 (許可) 逃がす (禁止) 販売・購入 (禁止)

	1. 移動、飼育	2. にかす	3. 販売・こう入
特定外来種	×	×	×
条件付き特定外来種	○	×	×

まとめ

たくさんの生き物がとれると思っていましたが
予想と全くちがっていて大雨のえいきょうで
川の様子が変わっていました。

本当はいるはずのないポイントにサワガニがいたり
去年たくさんとれたポイントが大雨でなくなってしまって
去年との比かくは必ずかしかつたので
大雨によって川がどんな風に変化したのか
まとめました。

今年は③大畑町④滝呂町でたくさんの種類が
とれました。

特に笠原町の2回目 $\frac{1}{2}$ にサワガニが34匹
とれたのはおどろきました。

そして新しい種類が15種類つかまえることが
出来ました。

川の工事で②京町の川底がコンクリートになっていて
生き物があまりとれませんでした。川の工事をする時は
川底を砂のままに原真いします。

生き物の名前や特ちょうを教えてくださいました

川の生き物の名前を教えてくださいました。

土岐川観察館のみなさん 山本真行様

富田増男様 伊藤詩乃様 春日井様

多治見昆虫会 荒木裕え様

林英昭様 横井洋文様

天気について資料をいただきました。

多治見気象の会 吉田信夫様

庄内川の生き物を教えてくださいました。

みずとぴょ庄内 館長さん しょく員のみなさん

ありがとうございました

最後に お父さん お母さん 勇/且カ

手伝ってくれてありがとう

魚鳥虫などで聞きたいことがあれば

ぜひ土岐川観察館へ行ってみてください